



# 楽天証券株式会社 2013年3月期決算説明資料

楽天証券株式会社 | 2013年5月10日

本資料に掲載されている事項は、当社のご案内の他、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する株式もしくは親会社である楽天株式会社の発行する株式、その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを御承知おきください。文中に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

1 2013年3月期 決算概要

2 2013年3月期 事業の状況

3 戦略・施策

1

2013年3月期 決算概要

- 2013年3月期は、衆議院選挙以降のマーケットの活況により増収増益。

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	前年比 増減率
営業収益	20,798	24,548	+ 18.0 %
純営業収益	19,468	23,469	+ 20.6 %
販売費・ 一般管理費	15,384	16,404	+ 6.6 %
営業利益	4,083	7,064	+ 73.0 %
経常利益	4,129	7,059	+ 71.0 %
当期純利益	2,642	5,635	+ 113.2 %

\* 2012年3月期第2四半期より連結数値

■ 取引量の増加に伴い取引関係費が増加、システム関連費は前年比減。

	2012年3月期	2013年3月期	前年比 増減率
販売費・一般管理費	15,384	16,404	+6.6%
取引関係費	5,459	6,078	+11.3%
(うち広告宣伝費)	1,065	996	▲6.5%
人件費	2,293	2,912	+27.0%
不動産関連費	1,972	1,664	▲15.6%
事務費	3,081	3,066	▲0.5%
減価償却費	2,417	2,343	▲3.1%
その他	162	340	+109.9%

\* 2012年3月期第2四半期より連結数値

# 2013年3月期 主要オンライン証券 業績比較

■ 第4四半期のマーケットの好調を受け、各社とも通期で増収増益基調。

(単位:百万円)

	楽天証券	SBI証券	松井証券	マネックスG	カブドットコム証券	GMOクリックHD
営業収益	24,548	43,401	20,799	37,390	13,132	17,927
前年比	+18.0%	+9.2%	+17.5%	+15.8%	+6.2%	+16.4%
販売費・ 一般管理費	16,404	29,017	9,719	31,490	7,589	12,178
前年比	+6.6%	+0.5%	+3.8%	+18.4%	▲2.2%	+33.2%
営業利益	7,064	11,478	10,195	2,067	3,882	5,019
前年比	+73.0%	+52.4%	+38.5%	▲15.6%	+30.8%	▲9.3%
経常利益	7,059	11,512	10,245	2,236	3,950	4,940
前年比	+71.0%	+54.2%	+38.1%	▲5.8%	+27.5%	▲10.9%
当期純利益	5,635	6,733	6,427	5,747	2,290	2,889
前年比	+113.2%	+19.3%	+51.0%	+304.1%	+44.3%	▲1.4%

\* 出所:各社開示資料より当社集計。楽天証券、SBI証券、マネックスグループ、GMOクリックホールディングスは連結業績、カブドットコム証券は非連結業績。

\* 松井証券は当第1四半期より連結対象子会社がなくなったため非連結の数値。前年同期比は前年の松井証券の連結数値から算出

\* マネックスグループは2013年3月期よりIFRSを導入しているが、比較目的のためマネックス発表による日本会計基準の値

- 2013年3月期第4四半期は、活況な市場の影響により国内株式市場の取引高が大きく増加し、営業収益は前四半期比+75.4%と大幅増。

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期				前四半期比
	第4四半期 (12年1~3月)	第1四半期 (12年4~6月)	第2四半期 (12年7~9月)	第3四半期 (12年10~12月)	第4四半期 (13年1~3月)	
営業収益	5,549	4,839	4,646	5,469	9,592	+75.4%
純営業収益	5,157	4,553	4,305	5,260	9,349	+77.7%
販売費・ 一般管理費	3,751	3,652	3,743	3,901	5,106	+30.9%
営業利益	1,406	900	561	1,359	4,242	+212.1%
経常利益	1,387	923	575	1,310	4,250	+224.4%
四半期純利益	478	920	177	387	4,150	+972.4%

\* 2012年3月期第2四半期より連結数値

- 取引量増加に伴い取引関係費が増加。システム関係費(不動産関連費、事務費、減価償却費)の伸びは売上の増加に比べ抑制。

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期				前四半期比
	第4四半期 (12年1~3月)	第1四半期 (12年4~6月)	第2四半期 (12年7~9月)	第3四半期 (12年10~12月)	第4四半期 (13年1~3月)	
販売費・一般管理費	3,751	3,652	3,743	3,901	5,106	+30.9%
取引関係費	1,314	1,265	1,258	1,449	2,104	+45.2%
(うち広告宣伝費)	174	178	213	205	398	+94.1%
人件費	607	599	638	668	1,006	+50.6%
不動産関連費	420	425	411	402	424	+5.5%
事務費	756	764	758	745	797	+7.0%
減価償却費	581	586	581	570	605	+6.1%
その他	69	10	96	63	166	+163.5%

\* 2012年3月期第2四半期より連結数値



■ 各社とも大幅な増収増益の中、当社も堅調に推移。

(単位:百万円)

	楽天証券	SBI証券	松井証券	マネックスG	カブドットコム証券	GMOクリックHD
営業収益	9,592	15,207	8,469	12,806	4,689	5,528
前四半期比	+75.4%	+52.3%	+87.4%	+46.8%	+50.4%	+14.3%
販売費・ 一般管理費	5,106	8,409	2,742	8,852	2,242	3,905
前四半期比	+30.9%	+21.9%	+18.9%	+16.8%	+26.2%	+16.1%
営業利益	4,242	6,026	5,499	3,104	2,157	1,413
前四半期比	+212.1%	+154.9%	+173.7%	-	+163.0%	+5.9%
経常利益	4,250	5,911	5,511	3,162	2,139	1,406
前四半期比	+224.4%	+142.0%	+174.0%	-	+151.4%	+5.6%
当期純利益	4,150	2,879	3,416	5,723	1,137	624
前四半期比	+972.4%	+99.8%	+179.8%	-	+117.8%	+16.4%

\* 出所:各社開示資料より当社集計。楽天証券、SBI証券、マネックスグループ、GMOクリックホールディングスは連結業績、カブドットコム証券は非連結業績。

\* 松井証券は当第一四半期より連結対象子会社が無くなったため非連結の数値。前年同期比は前年の松井証券の連結数値から算出

\* マネックスグループは2013年3月期よりIFRSを導入しているが、比較目的のためマネックス発表による日本会計基準の値

■ 投資信託残高、FX収益で主要オンライン証券各社に比べ大幅に増加。

	楽天証券	SBI証券	松井証券	マネックスG	カブドットコム証券	GMOクリックHD
株式売買代金 (十億円)	11,338	25,019	7,079	5,589	5,499	5,574
前四半期比	+143.8%	+148.5%	+196.8%	+152.1%	+144.5%	+133.5%
信用取引残高 (十億円)	266.8	517.0	287.6	170.1	203.3	N.A.
前四半期比	+72.1%	+60.1%	+74.5%	+45.5%	+88.4%	-
投資信託残高 (十億円)	** 307.7	722.4	-	255.0	128.1	-
前四半期比	+48.1%	+17.1%	-	+12.3%	+15.9%	-
先物オプション収益 (百万円)	500	N.A.	396	220	378	N.A.
前四半期比	+70.1%	-	+57.8%	+63.0%	+58.2%	-
FX収益 (百万円)	704	1,169	243	1,706	378	N.A.
前四半期比	+156.9%	+35.0%	+89.8%	+85.0%	+92.9%	-

\* 各社公表資料より、当社作成。 \*\* 当社投資信託残高には、2013年月に楽天銀行より吸収分割の方法により承継した投資信託残高を含む。

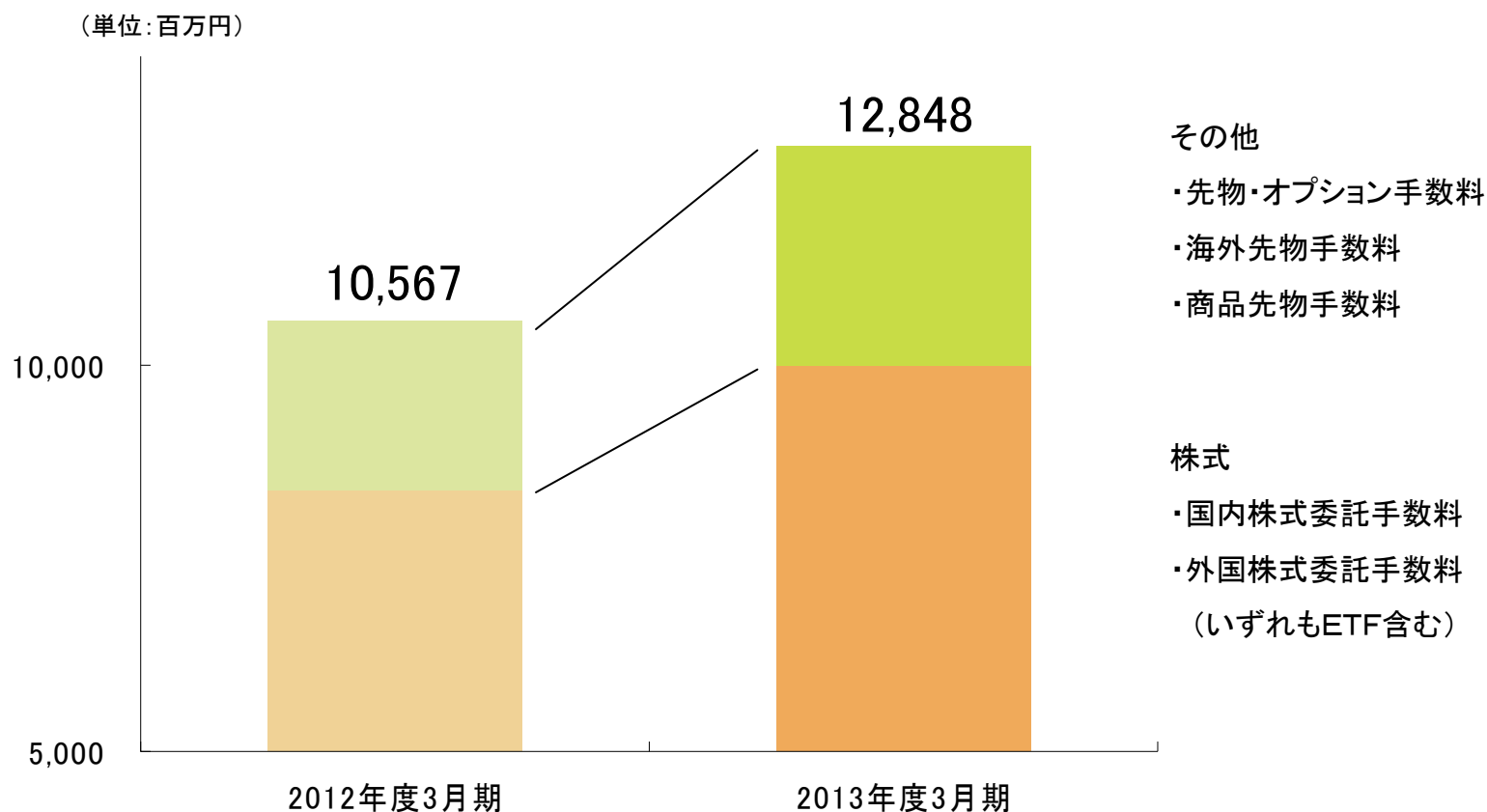
\*\*\* マネックスグループの各数値は、マネックス証券単体、もしくは連結決算における地域別セグメント：日本における数値。

2

2013年3月期 事業の状況

- 株式手数料及び先物・オプション等その他委託手数料は前年比+21%の増加。

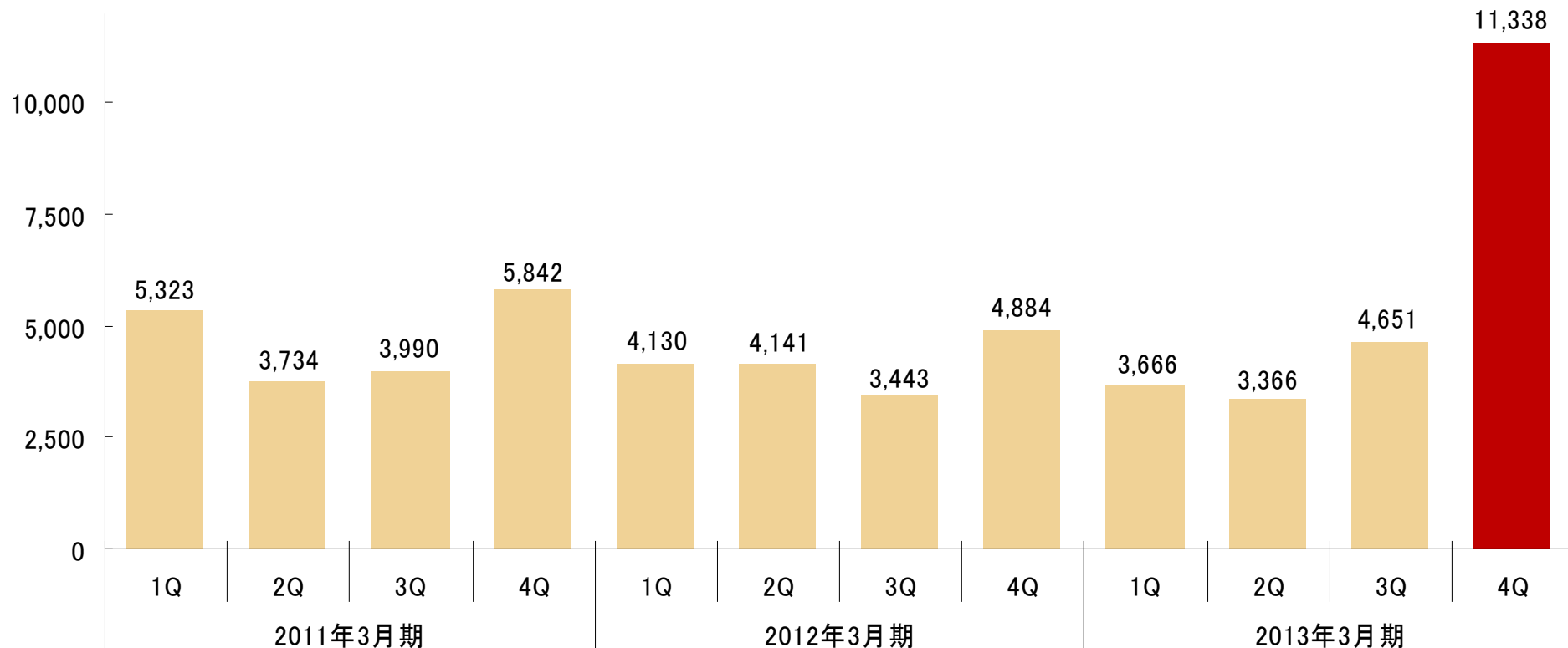
## 委託手数料(連結ベース)



- 株式売買代金は、市況の活況を伴い大幅増。
- 『超割』サービスにダイヤモンドランクを追加し、さらなるサービス向上に努める。

## 国内株式売買代金の推移

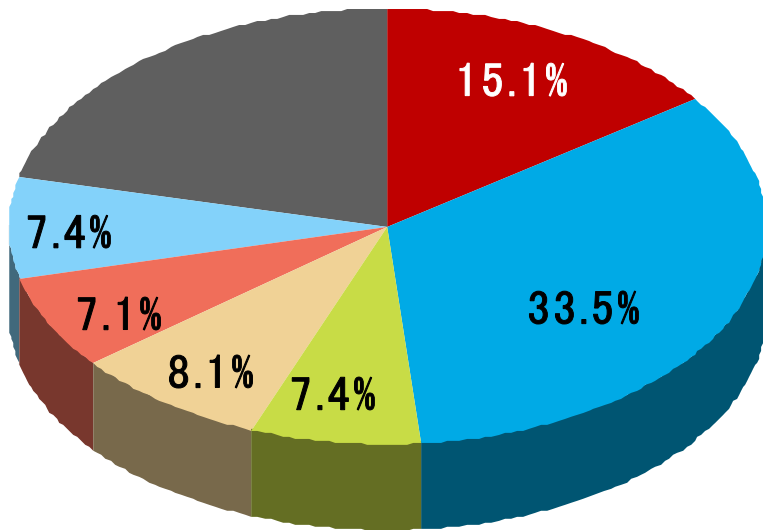
(単位:十億円)



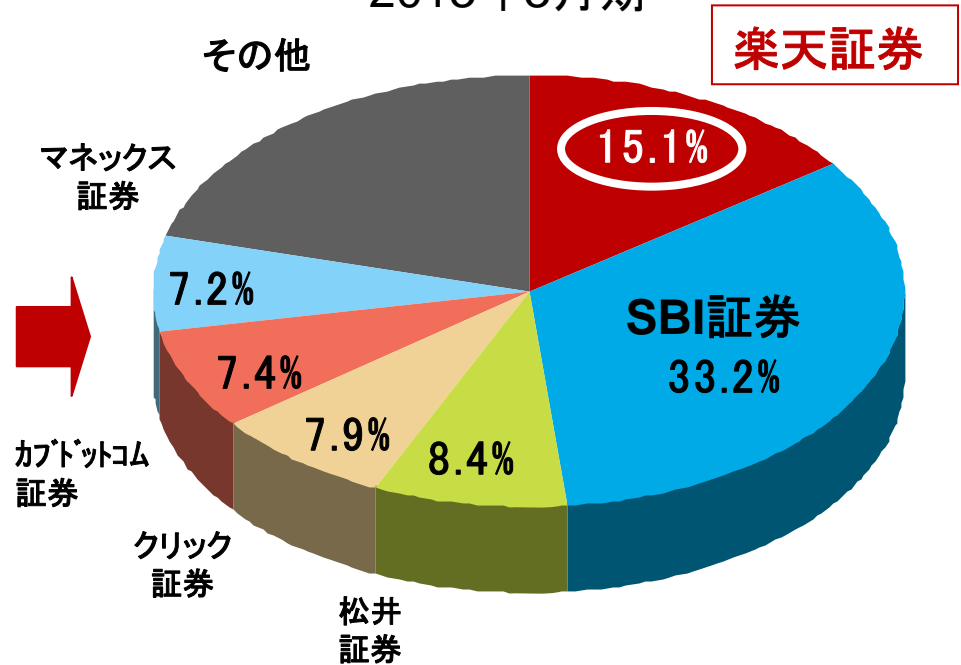
- 国内株式の委託個人売買代金の業界シェアは、前年並で着地。

## 三市場の個人委託売買代金に対する各社のシェア

2012年3月期



2013年3月期

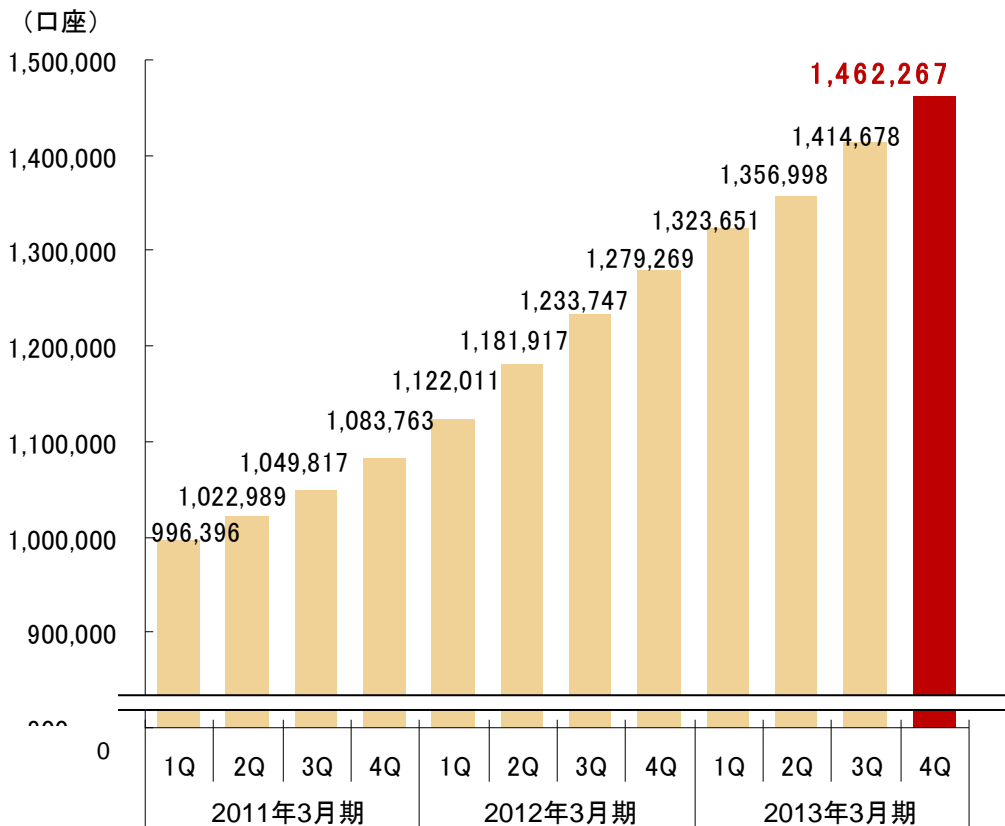


\*株式個人委託売買代金は三市場1、2部等

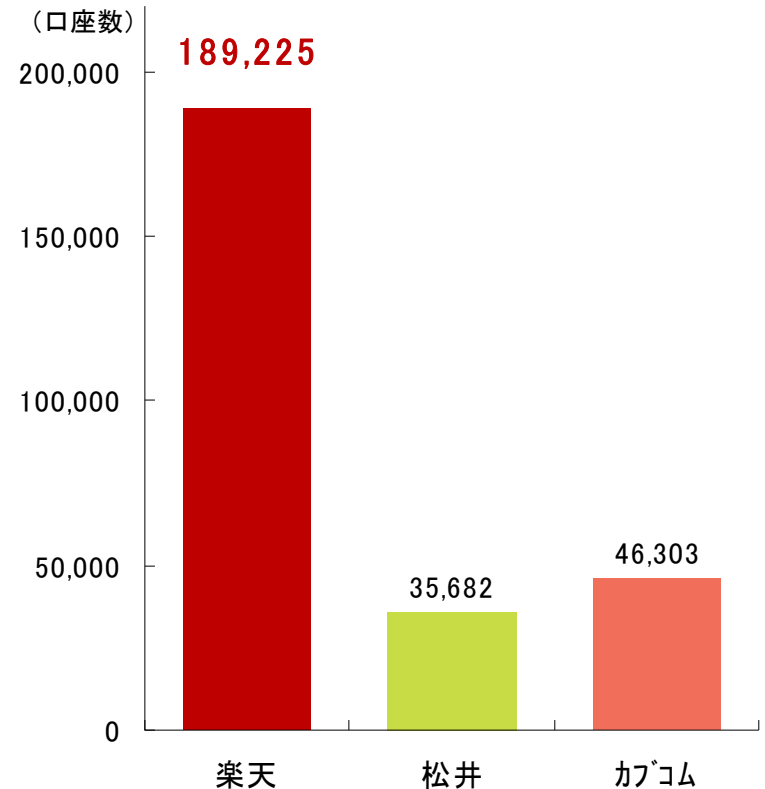
\*出所：東京証券取引所開示資料及び各社ウェブサイト上での公開情報により当社集計

- 総合口座数は、楽天グループ経由の流入を中心に増加。
- 当期の口座開設数は、実績を開示している主要オンライン証券中、第1位。

## 総合口座数推移



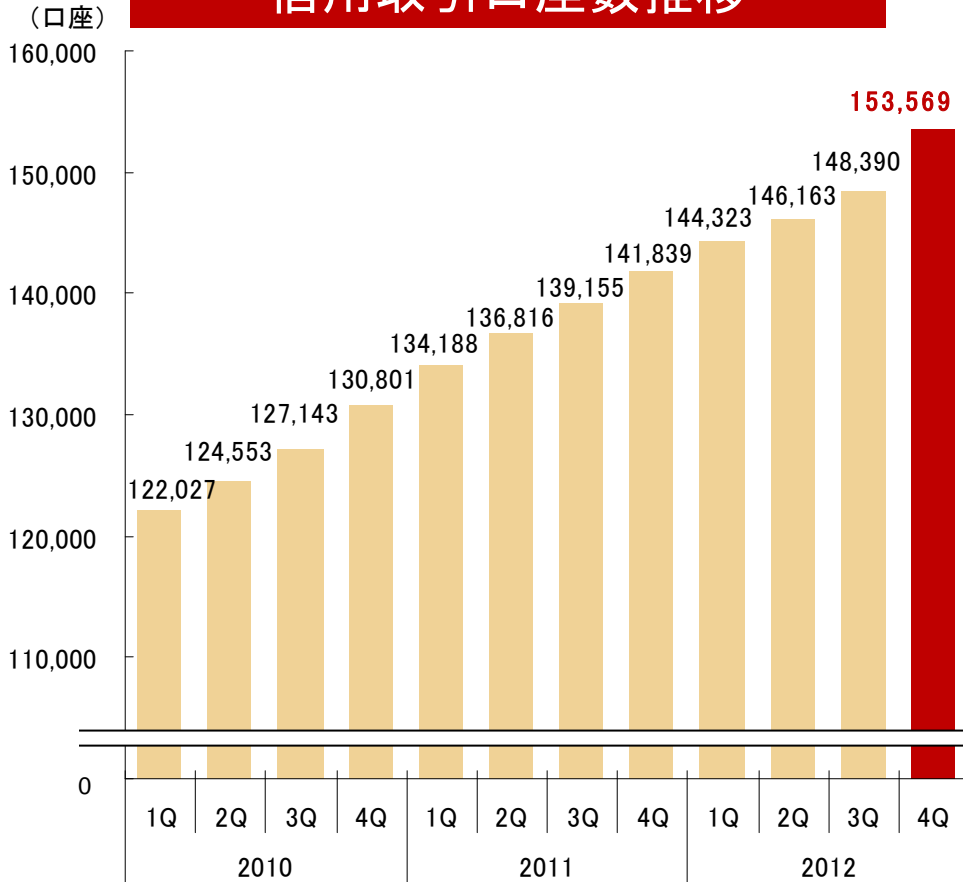
## 2013年3月期 新規口座開設数



\*マネックス証券・クリック証券は開示基準の違いにより比較できないため掲載せず。  
\*SBI証券は未発表のため未掲載。 \*出所:各社ウェブサイト等での公開情報により集計

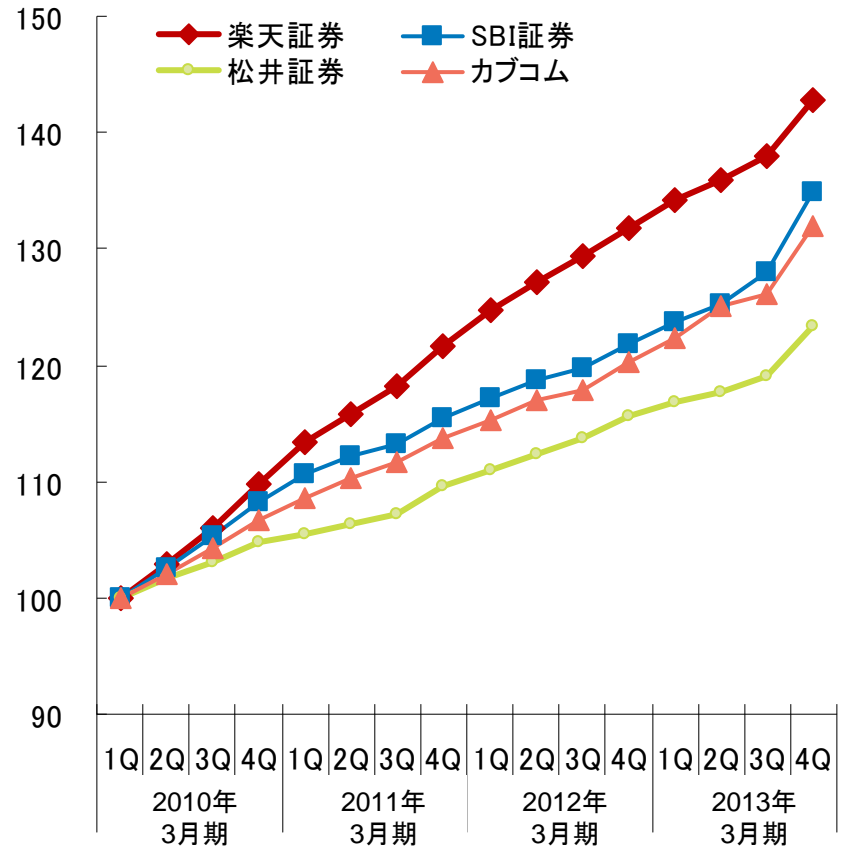
■ 信用取引口座についても、引き続き主要オンライン証券ナンバーワンの増加率。

## 信用取引口座数推移



## 信用取引口座 増加率

(各社の2010年3月期第1四半期末を100とした場合の指数)



\*マネックス証券は口座数情報の開示基準が異なるため、掲載せず。

\*出所: 各社ウェブサイト等での公開情報により集計



# 先物オプション取引

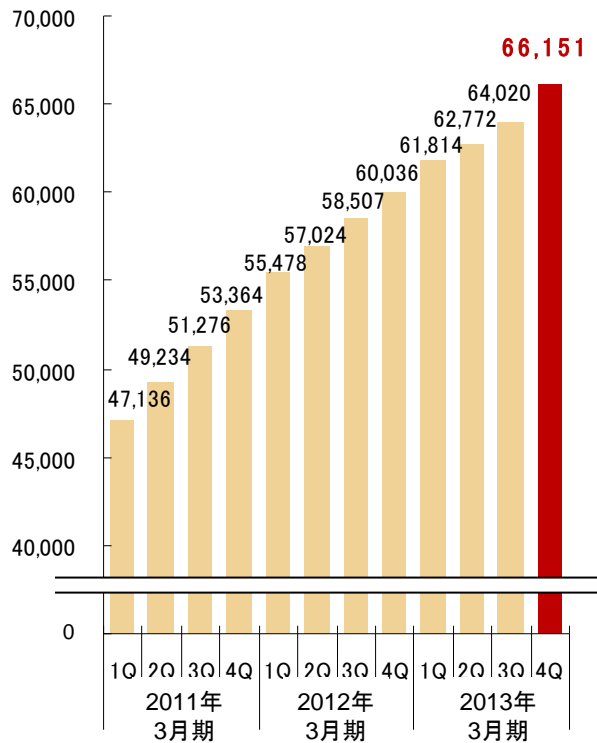
- 先物・オプション取引口座数は順調に増加。引き続きリスクとのバランスを見つつ運営。
- 商品先物を含むデリバティブ収益は引き続き主要オンライン証券中1位。

## 先物・オプション口座数

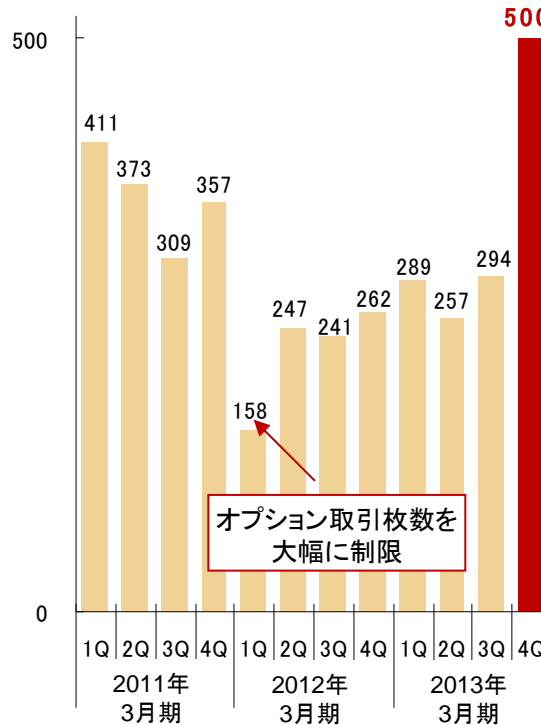
## 先物・オプション収益

## デリバティブ収益

(単位: 口座)



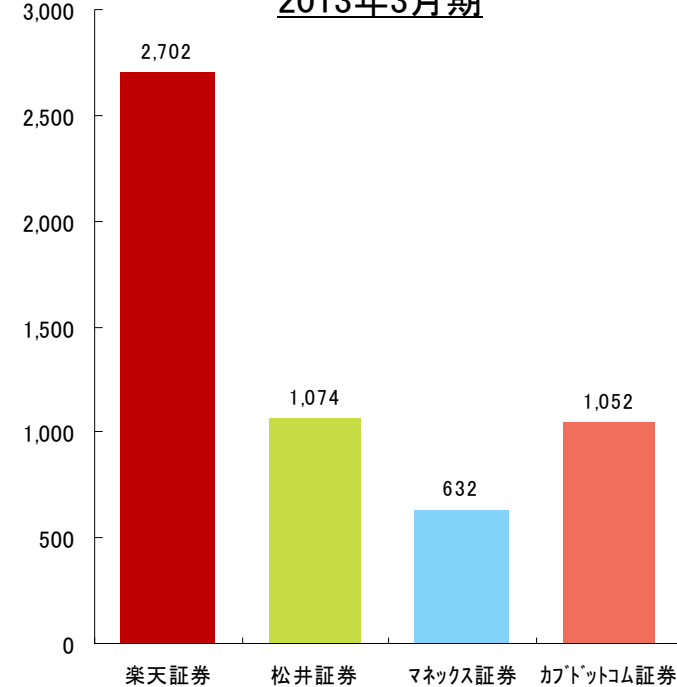
(単位: 百万円)



(単位: 百万円)

【含む商品先物取引、除くFX取引】

2013年3月期



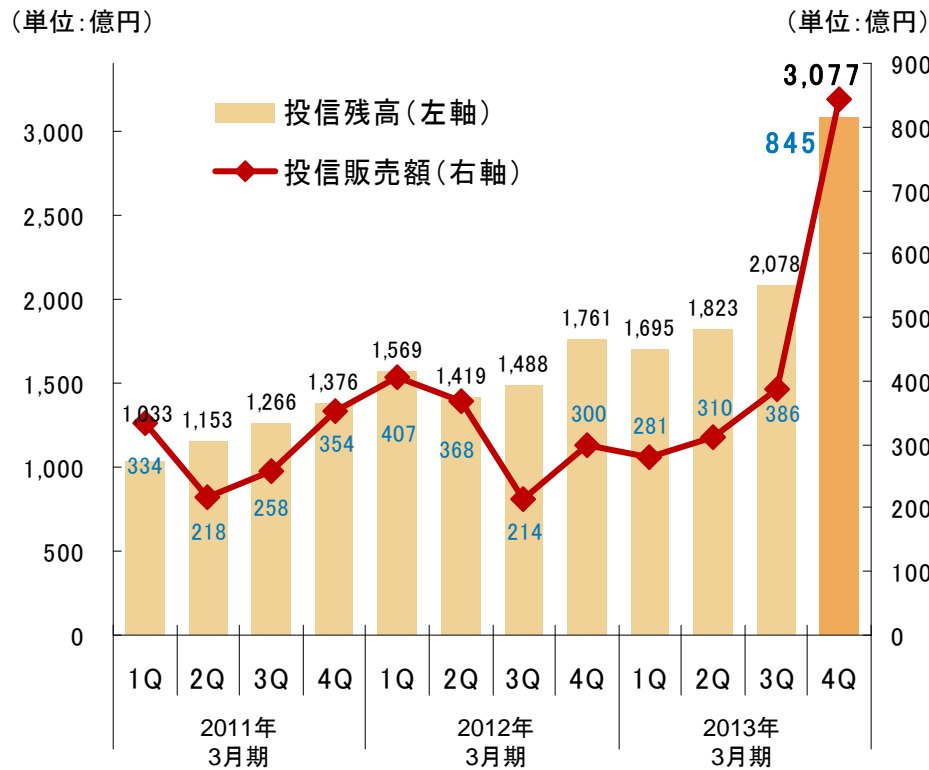
\*SBI証券は数値非開示につき未記載

\*楽天証券のデリバティブ収益には連結子会社であるドットコムシティ株式会社の数字を含む

\*出所: (社)金融財政事情研究会各社公表情報及び各社ウェブサイト等での公開情報により集計。マネックス証券は日本国内のみ

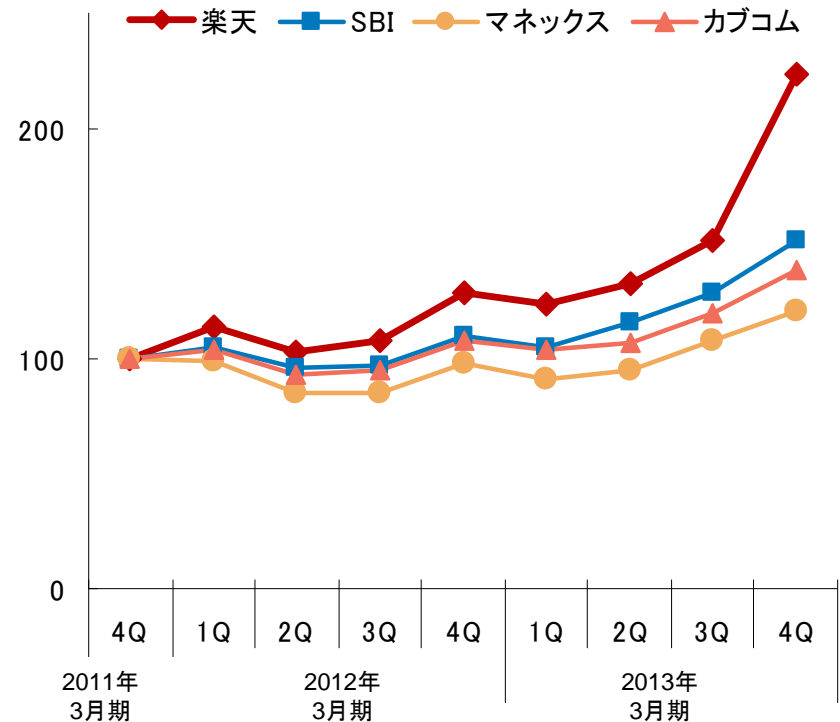
■ 2013年1月に楽天銀行から投資信託事業を継承し、投資信託は順調に増加し年度末には3,000億円を突破。残高は前四半期比+48%増。

## 投資信託残高・販売額推移



## 投資信託残高推移

(各社の2010年3月期第1四半期末を100とした場合の指数)



\*投資信託残高及び販売額には国内外MMFを含む

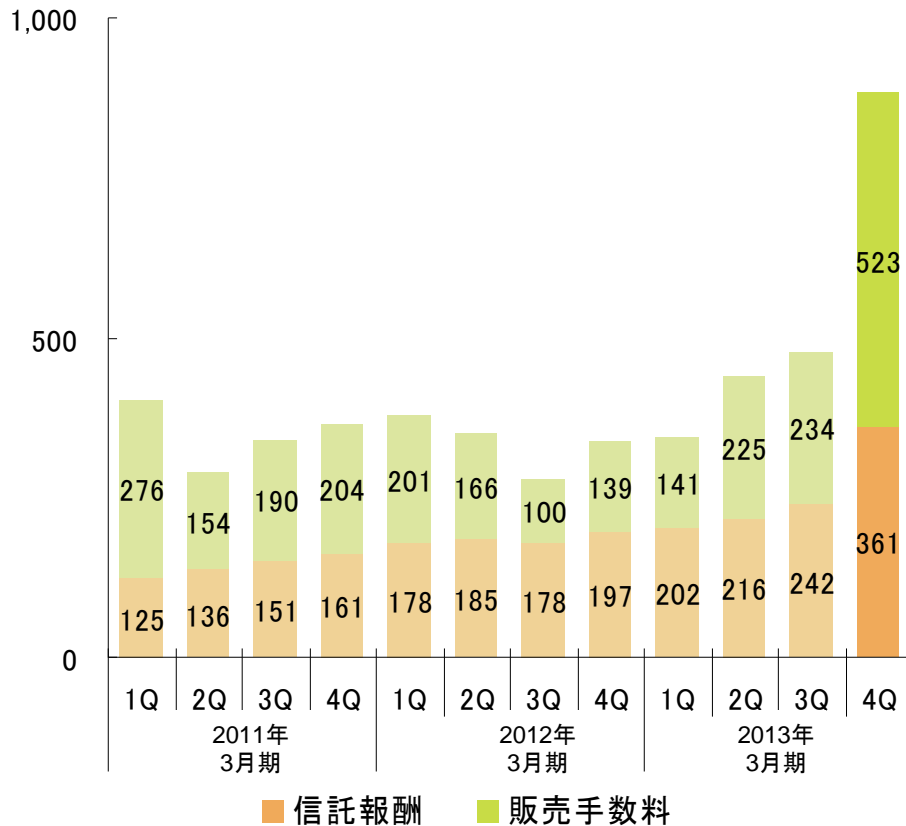
\*松井証券は投資信託の取扱いなし。

\*出所:各社ウェブサイト等での公開情報をもとに弊社にて指数化

- 楽天銀行からの投資信託事業の移管もあり関連収益は順調に増加。
- 取扱本数は1,265本まで増加。ノーロード投信についても前年比17本増加し346本に。

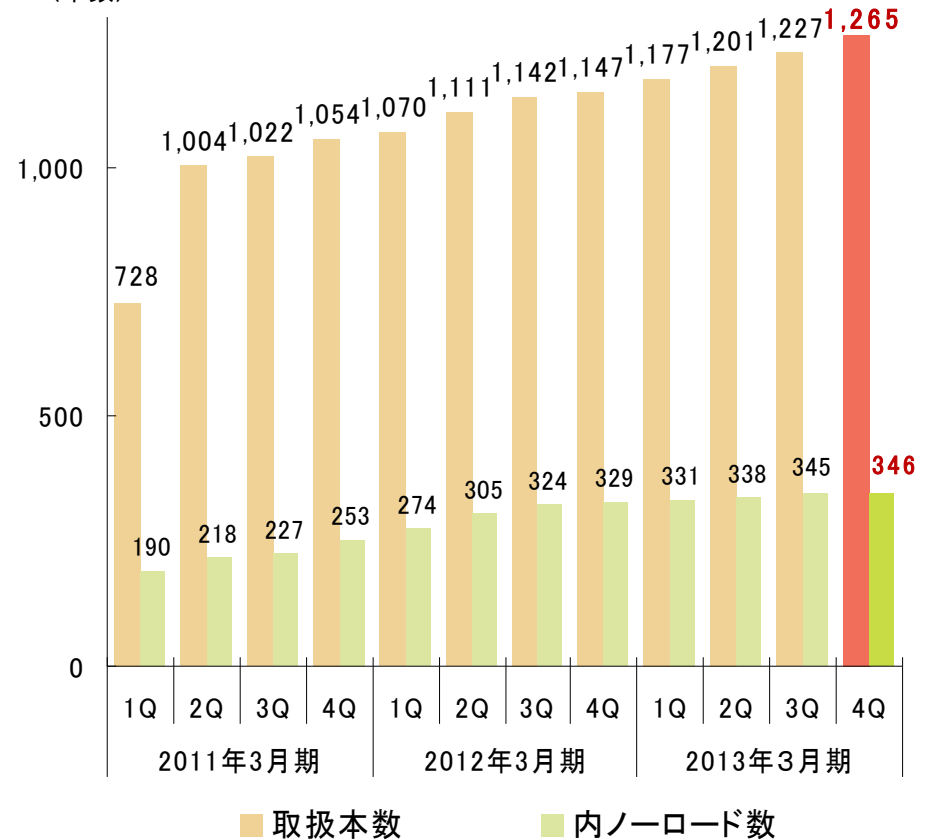
## 投資信託関連収益

(単位:百万円)



## 投資信託取扱本数

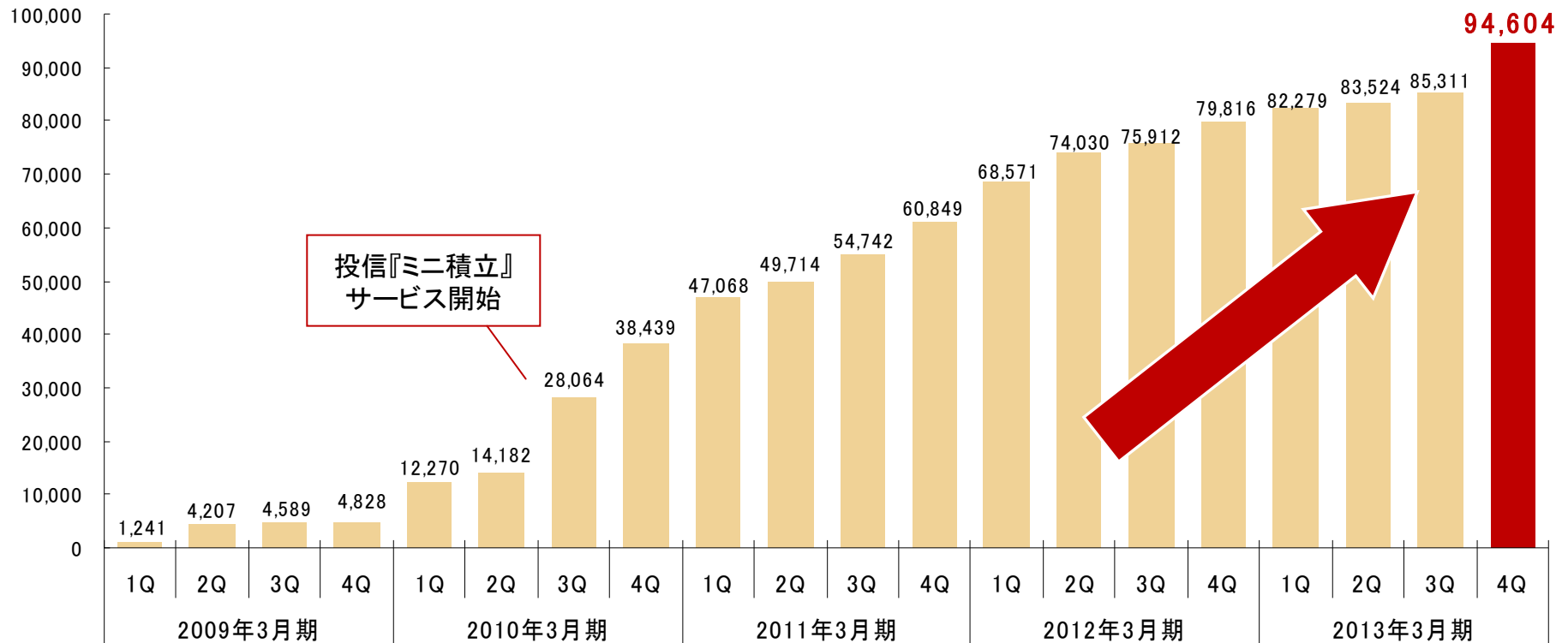
(本数)



- 積立設定件数は楽天銀行からの移管分を含め、大幅に増加。

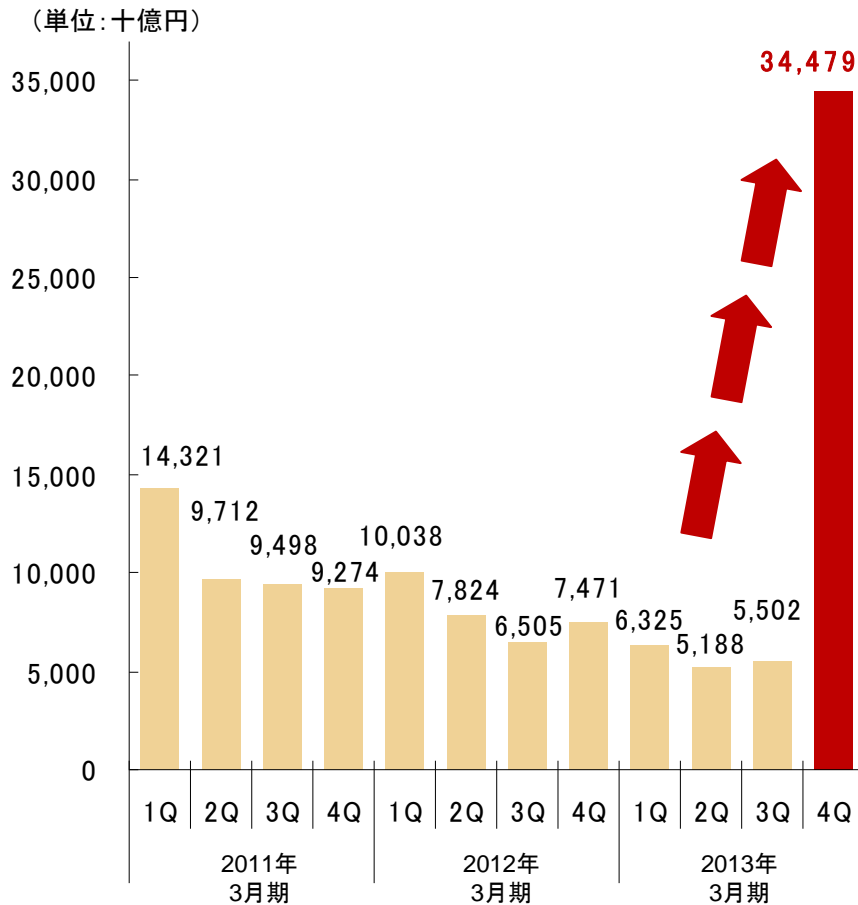
## 積立 設定件数推移

(単位: 設定数)

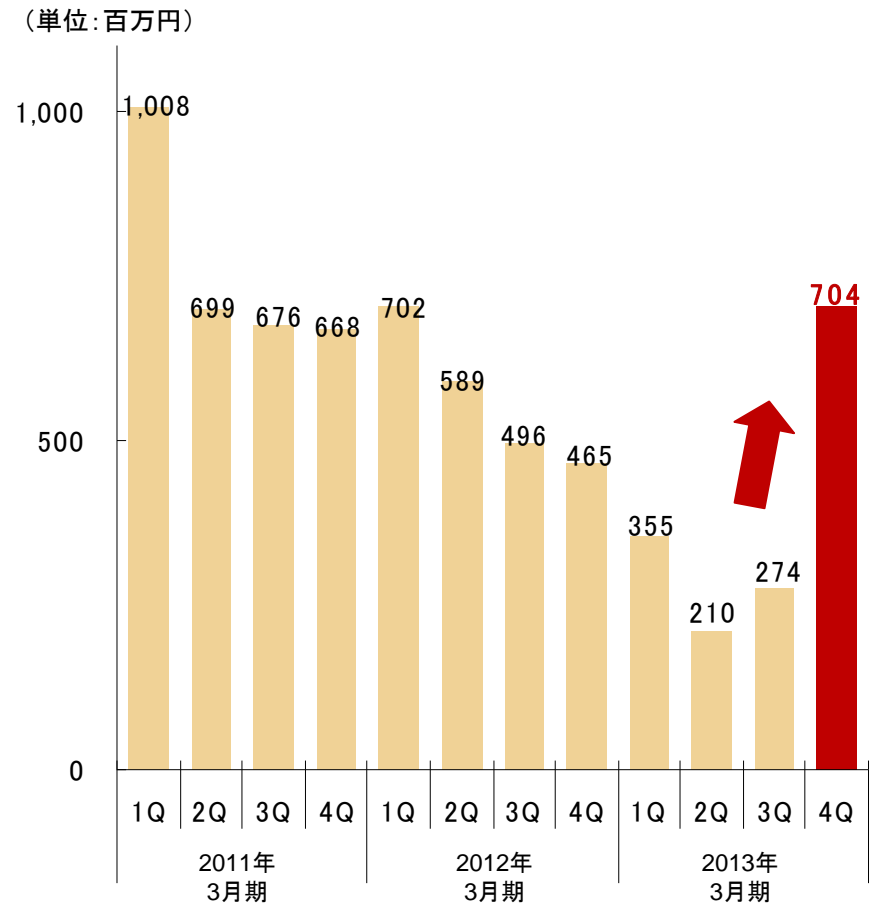


■ 1月の新FXサービスの提供開始後、大幅な取引量増加に。

FX取扱高推移



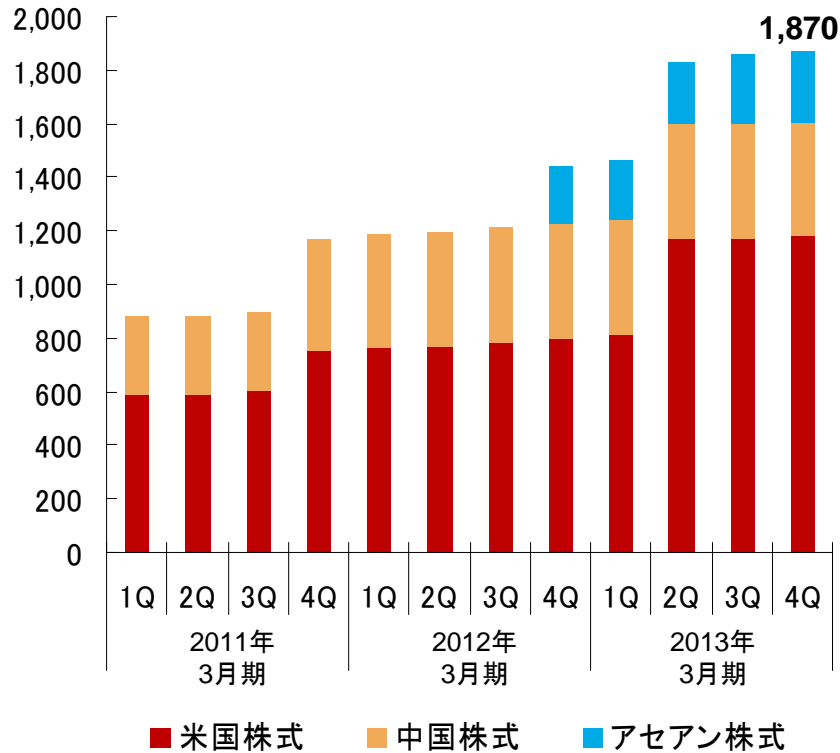
FX 収益推移



- 外国株式取扱い数は2013年3月末には1,870銘柄に(前年比30%増)
- 円安局面で、特にタイ・インドネシア株式は現地株価上昇と相まって取引大幅増。

## 外国株式取扱銘柄数推移

(単位:銘柄数)

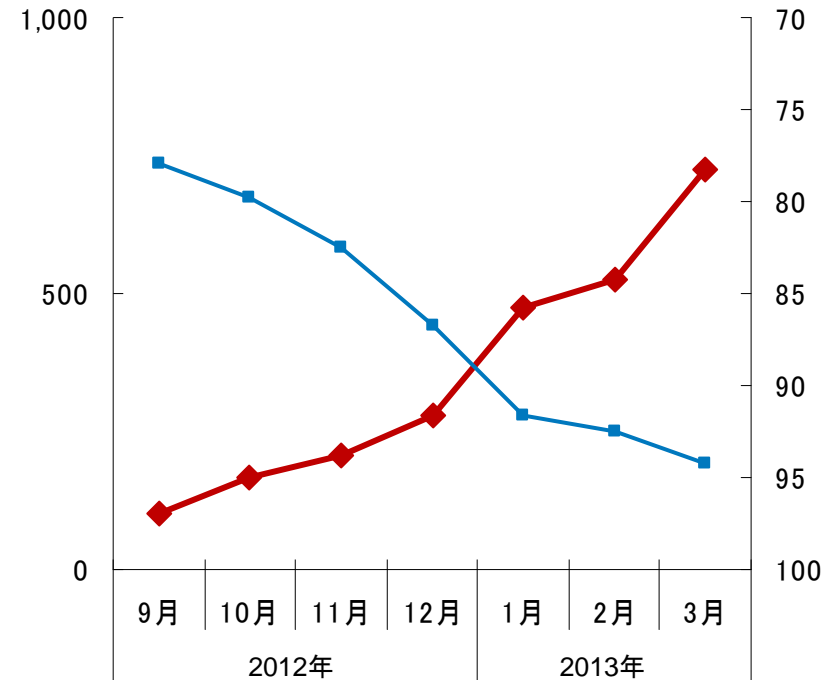


\*上記銘柄数はETFを含む。

\*上記アセアン株式はシンガポール・タイ・インドネシア・マレーシアの4カ国を含んでおります。

## ASEAN株式売買代金の推移

2012年9月の売買高を100とした場合の指数  
(1ドル=円)



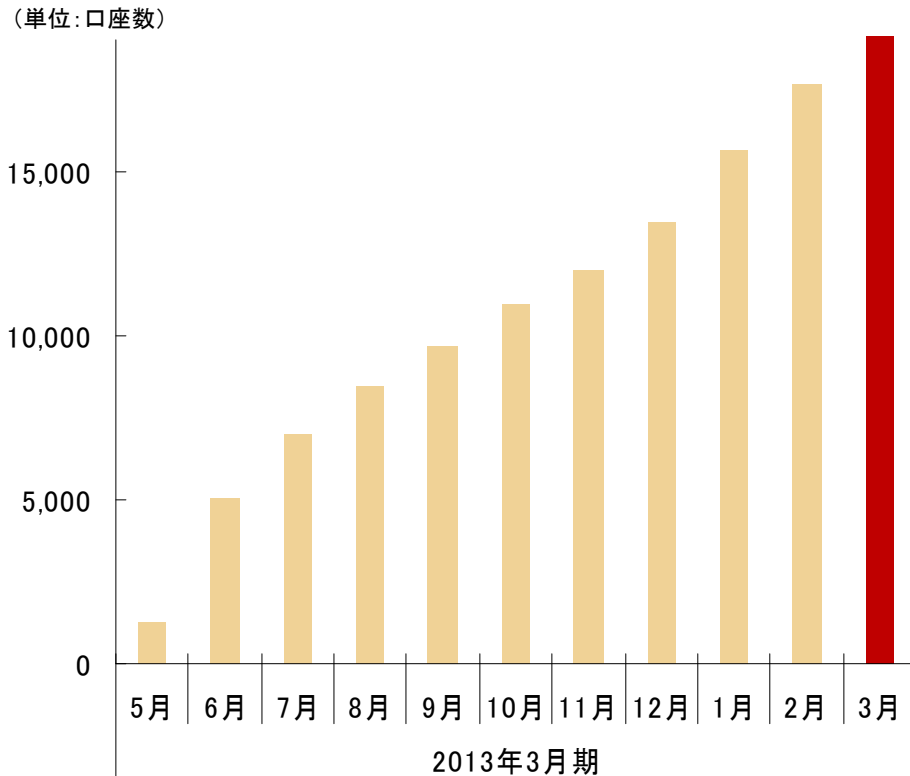
◆ ASEAN株式売買代金指数 (左軸)

■ ドル円為替レート (右軸)

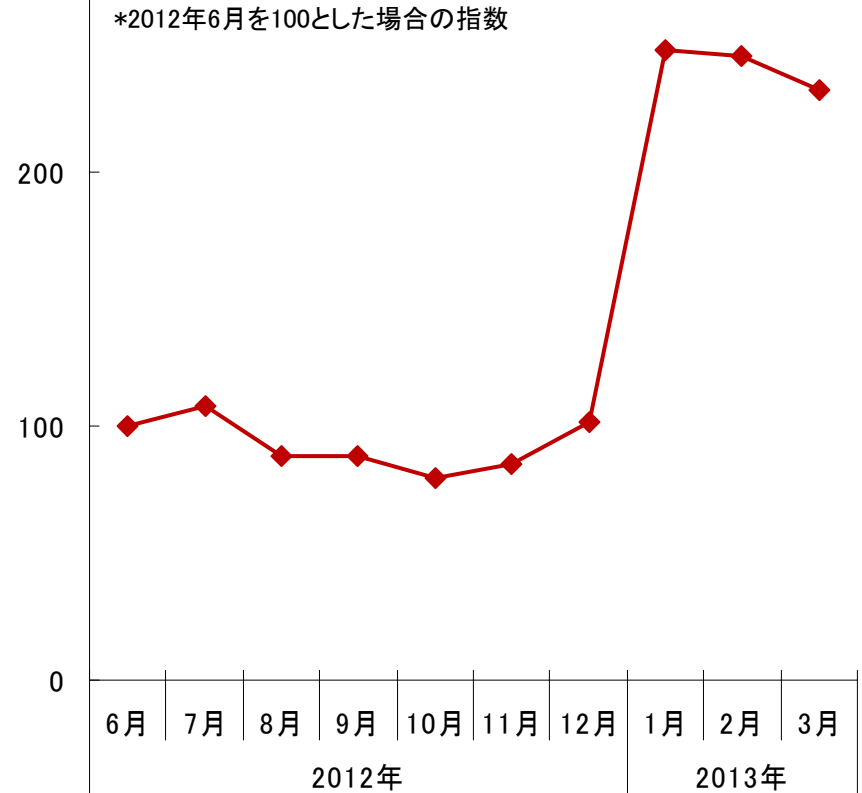
\*ドル円為替レートは、当社外国為替証拠金取引適用レート月末値を参考

- 2012年5月の『金・プラチナ取引サービス』開始以来、口座数は順調に増加。
- 金相場の動向を反映し、2013年に入り取引高が急増

## 金・プラチナ取引サービス 累積口座開設数推移

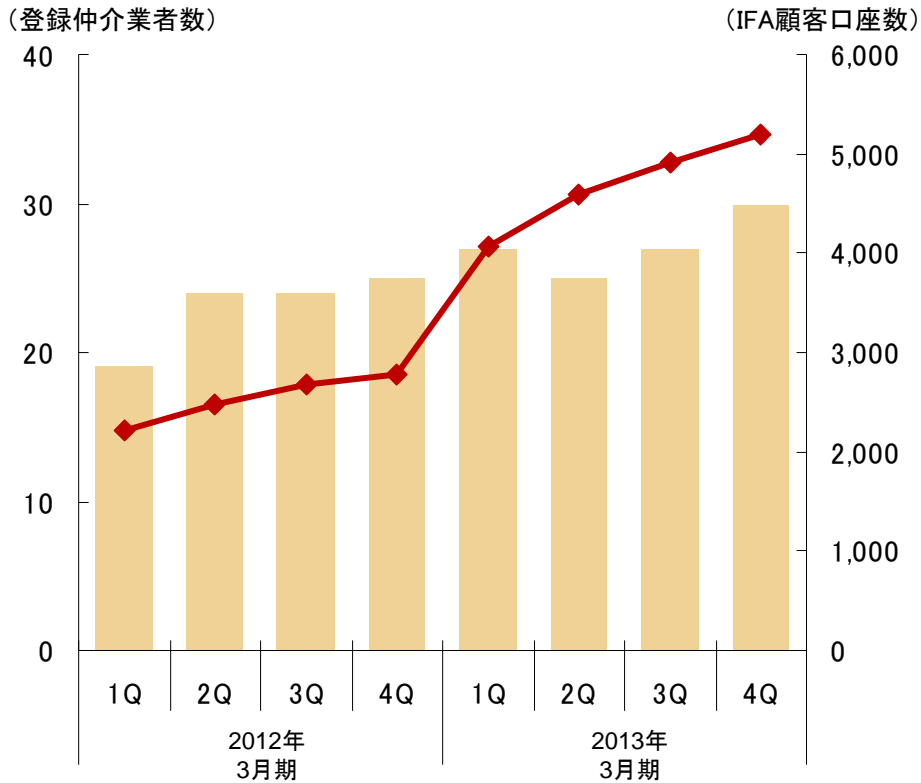


## 金プラチナ取引サービスの 売買高推移



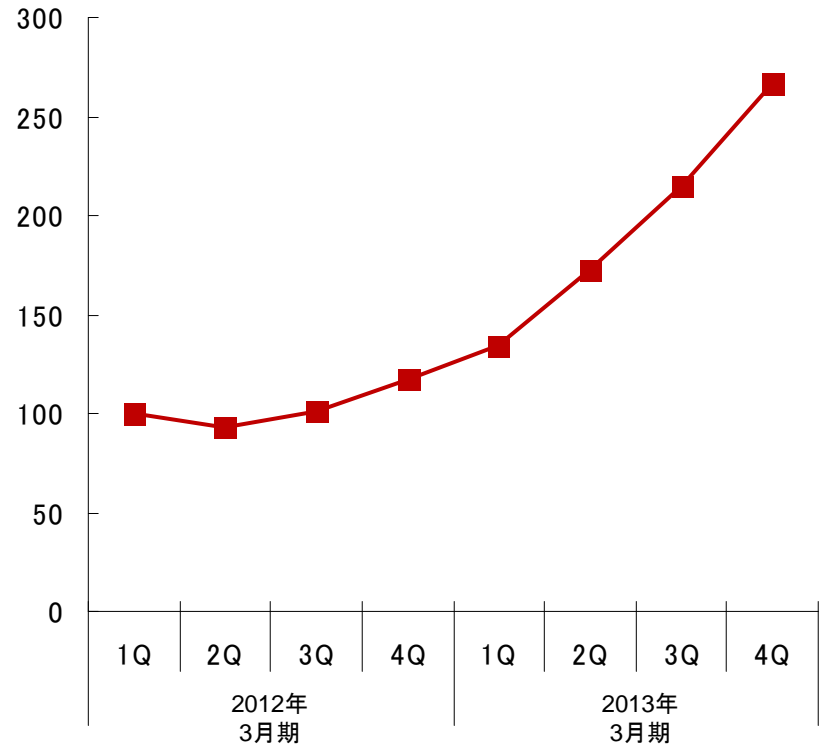
## ■ 顧客数・預り資産残高は順調に増加。

### 登録仲介業者・顧客数推移



### IFA経由顧客 預り資産残高

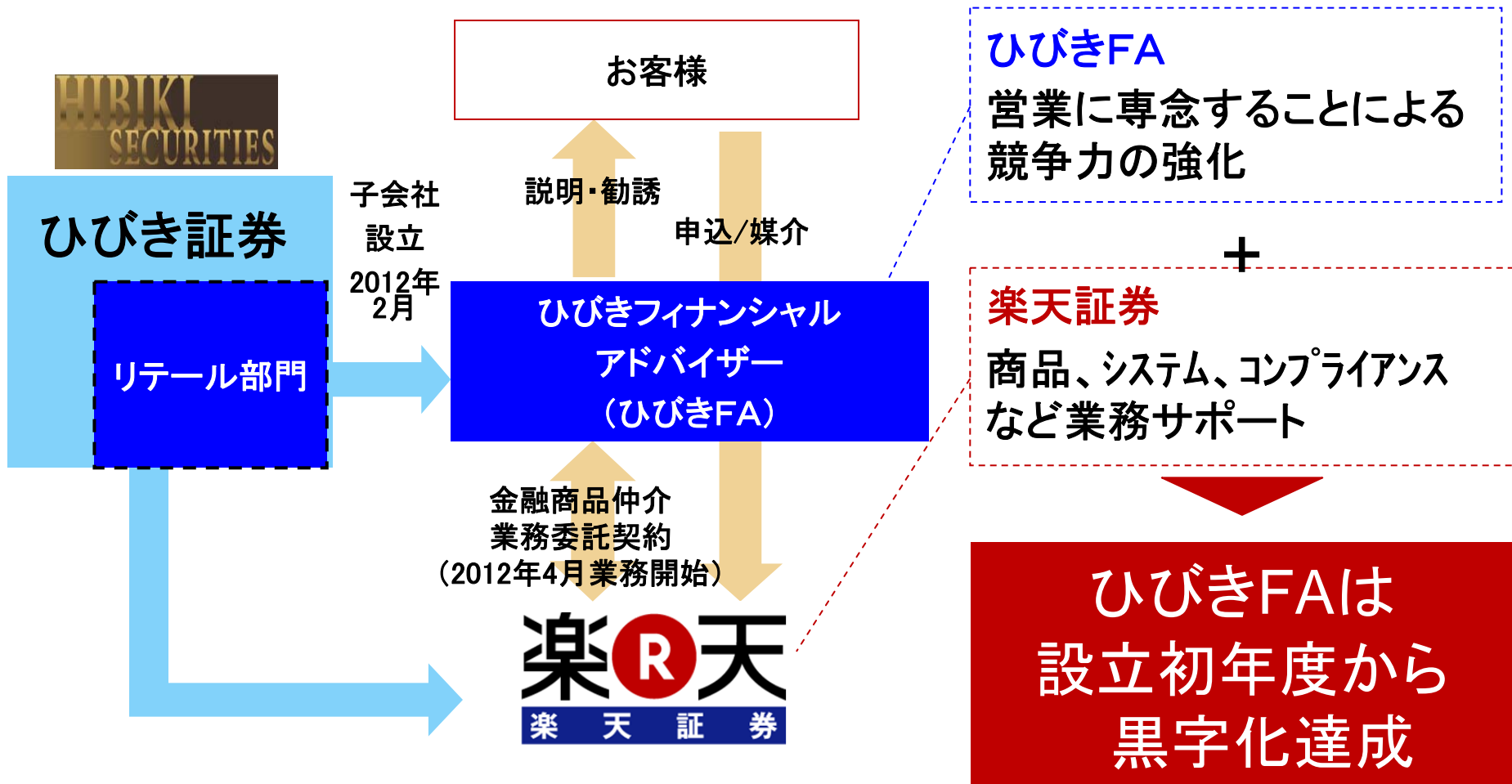
2011年6月末の預り残高を100とした場合の指数



■ 登録仲介業者 (IFA) 数 ◆ IFA経由顧客口座数



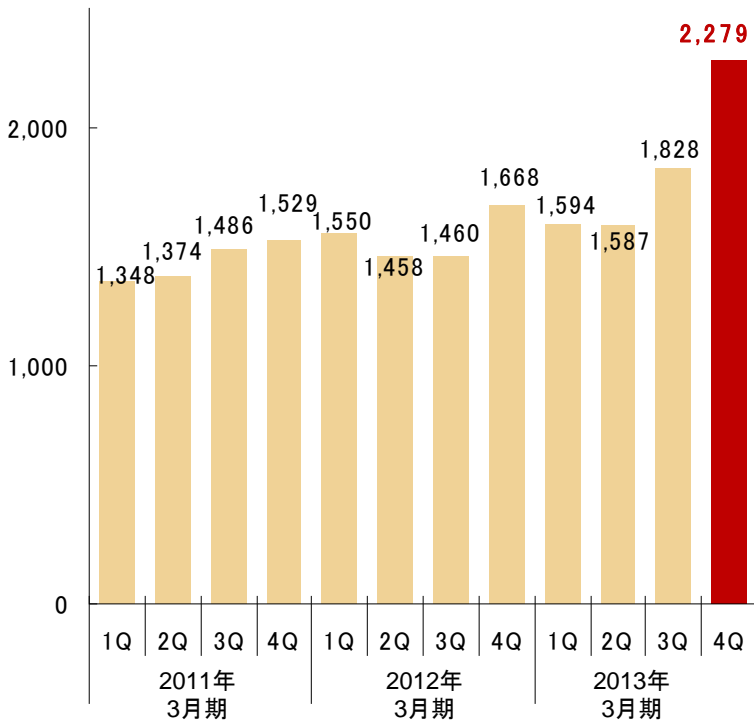
- ひびき証券との業務提携による、ひびきFAとの金融商品仲介業務は、WIN-WINモデルとして順調に成長。ひびきFAは設立初年度から黒字化達成。



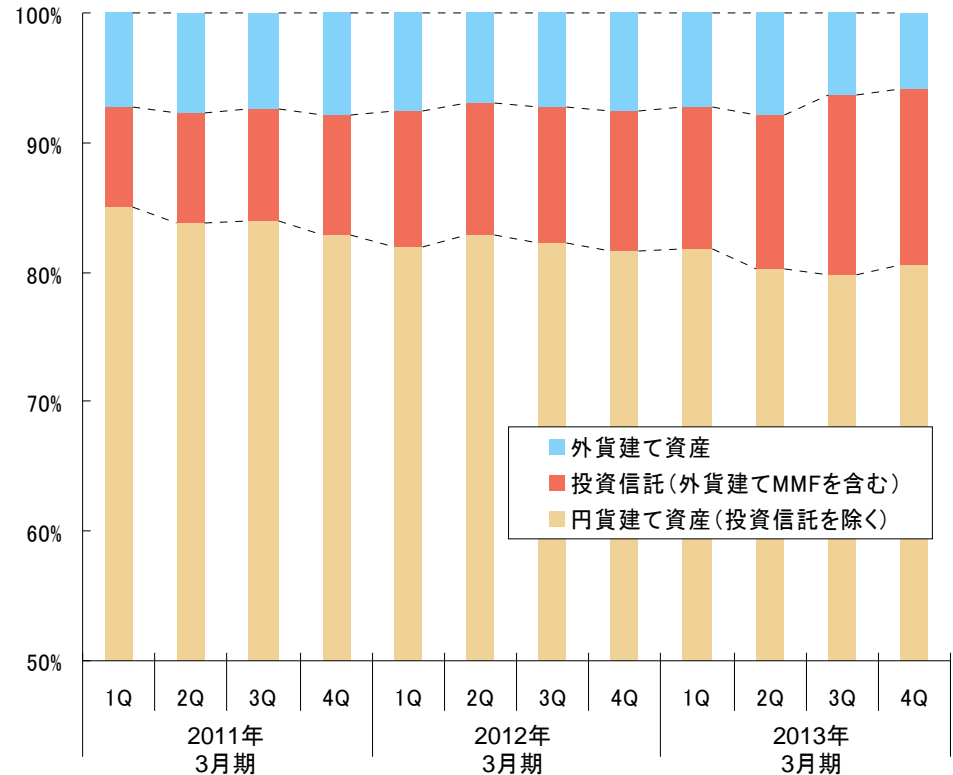
- 預り資産残高は過去最高額を記録。
- 投資信託と外貨建て資産の割合はさらに拡大。

## 預り資産の推移

(単位:十億円)



## 預り資産の概要

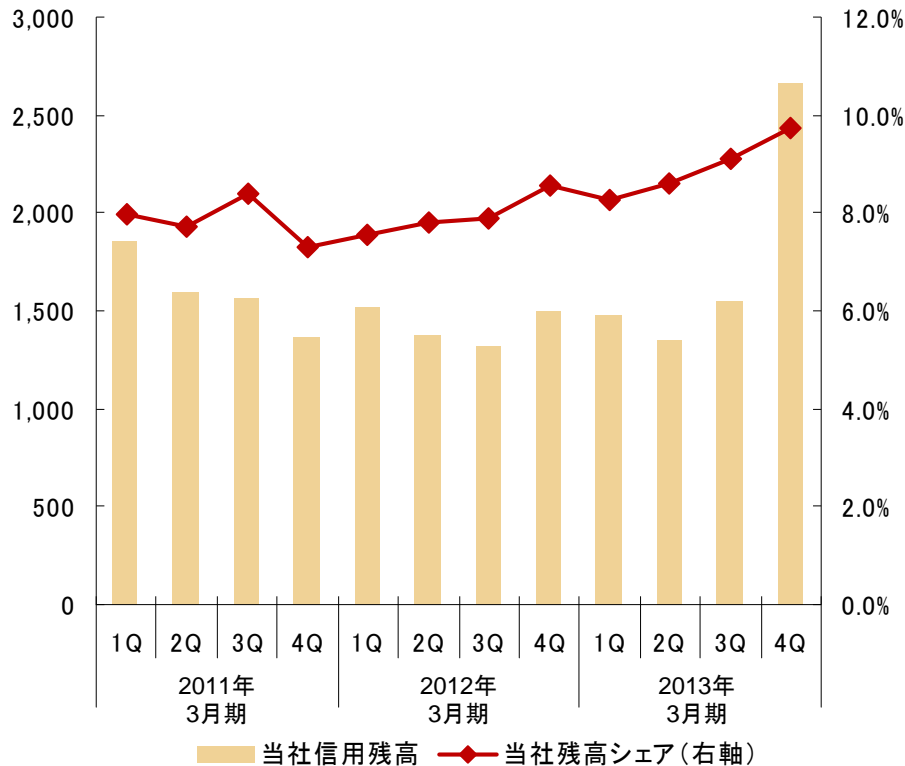


\*外貨建て資産には、各種通貨建て預り金・外国債券・外国株式・海外先物証拠金(ドル建て)を含む

## ■ 信用取引残高・シェア共に大きく増加。金融収益は前四半期比+47.6%

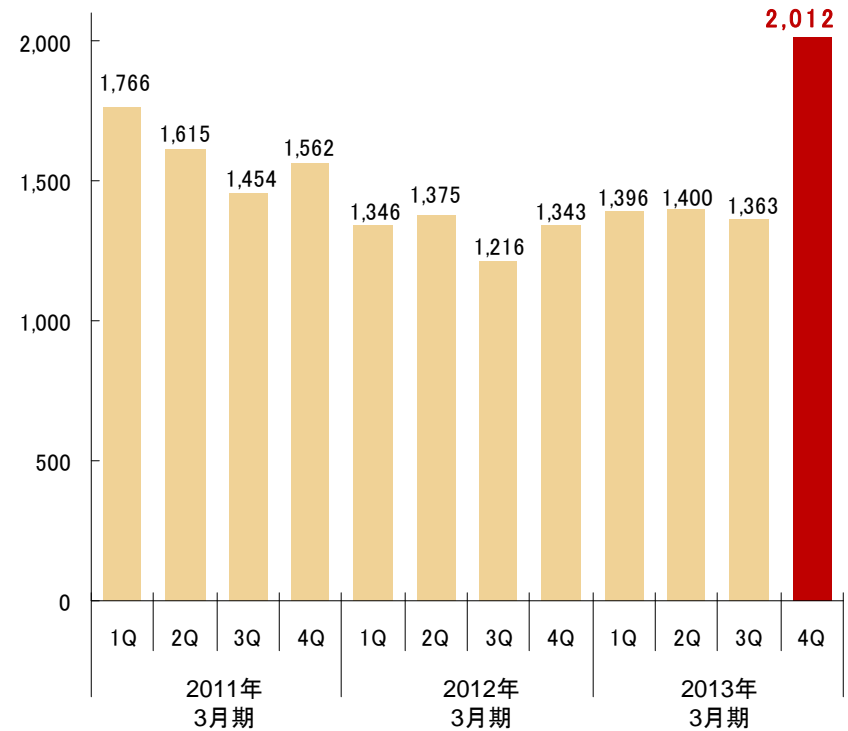
### 信用取引残高と当社シェア推移

(単位:億円)



### 金融収益推移

(単位:百万円)



\*当社残高シェアは東京証券取引所公表数値を元に当社算出

3

戦略・施策

- 楽天グループとの強力なシナジーを推進力にしたサービス提供を進める。

## 顧客基盤

8,000万を超える  
楽天会員

ネットリテラシーの高い顧客層  
の取り込み

- ・楽天市場
- ・楽天トラベル
- ・楽天オークション
- ・楽天Edy
- ・楽天生命 等



140万人を超える  
お客様への最新・革新的な  
サービスのご提供

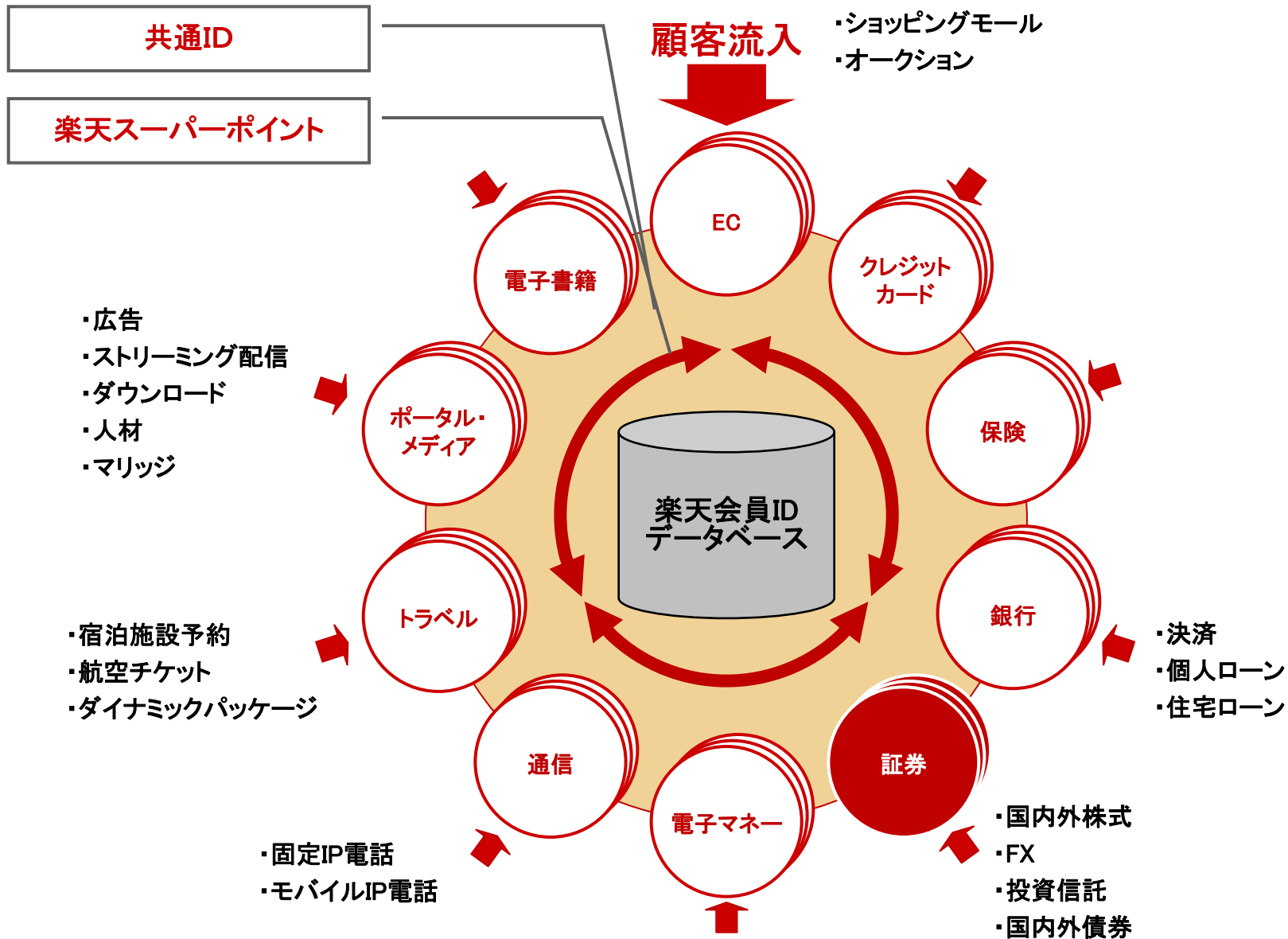
## ノウハウ&テクノロジー

楽天グループのメリットを  
活かしたサービスの提供

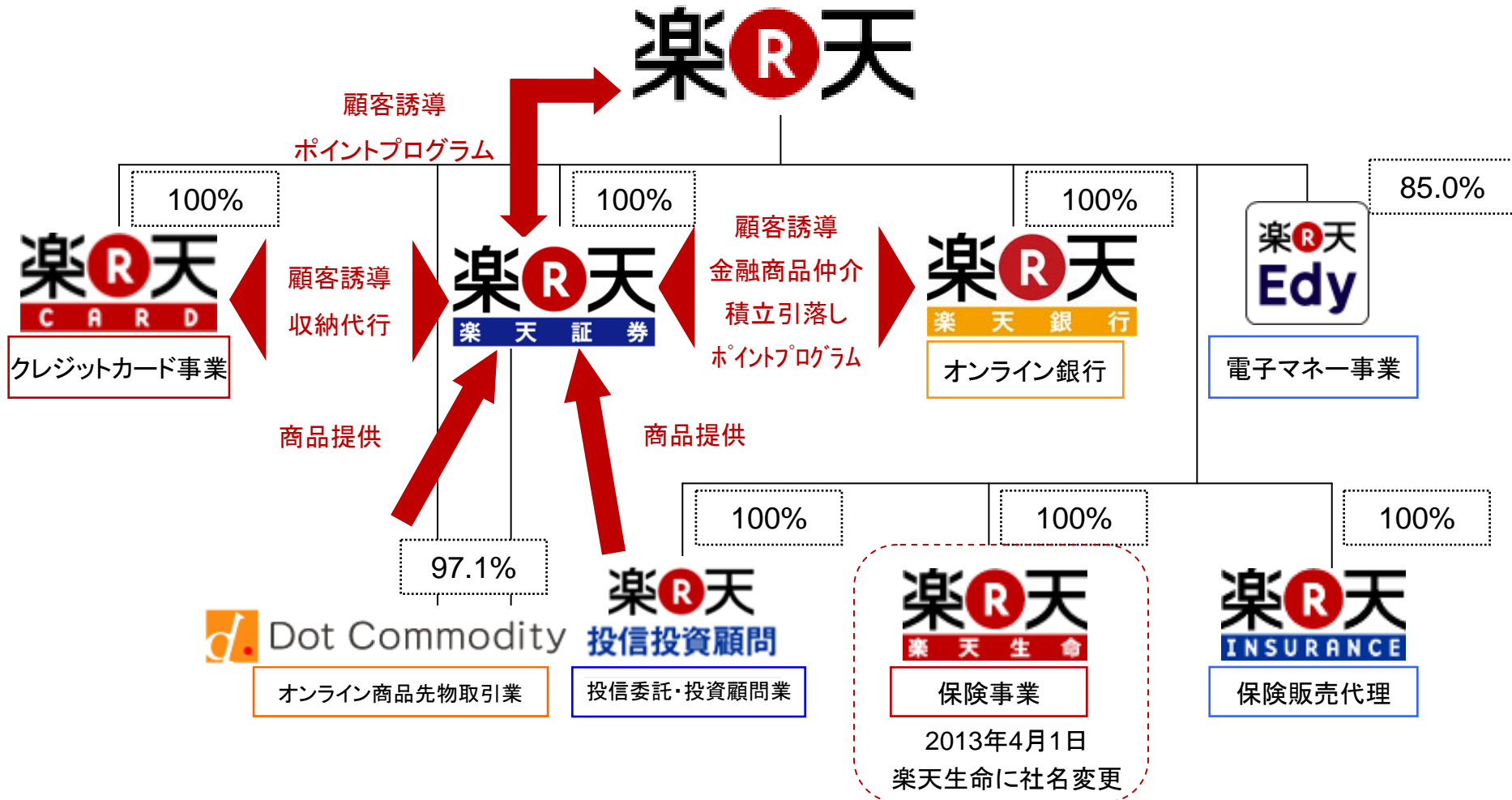
- Webマーケティング
- ID連携プログラム
- ポイントプログラム
- 最先端のネットテクノロジー
  - ・新しいデバイスへの展開
  - ・マーケティング分析

\*楽天生命は2013年4月1日にアイリオ生命保険株式会社から社名変更

# 「楽天エコシステム」

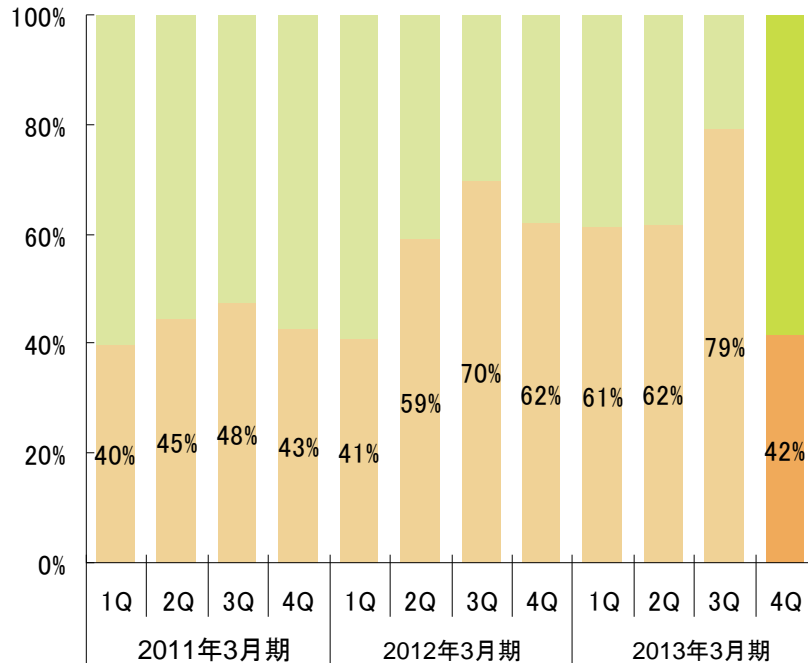


- 楽天銀行、楽天カードをはじめとした楽天金融事業とのシナジーによりお客様に一層質の高いサービスや商品を提供。



- 楽天グループ経由から安定した顧客獲得。
- 低水準の口座獲得コストを維持。

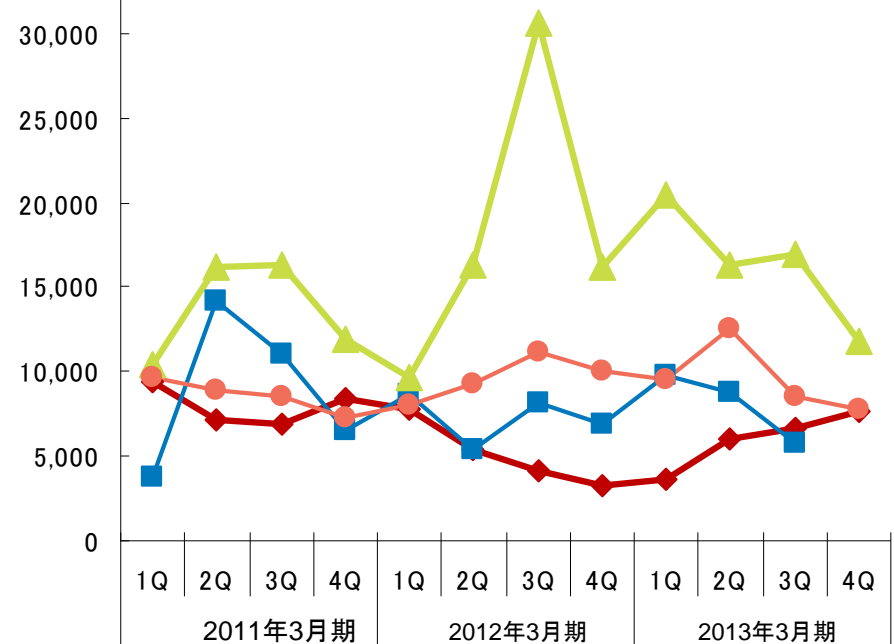
## 楽天グループ経由 新規口座開設数



■ グループ経由 ■ その他

## 口座獲得コスト他社比較

(単位:円)



◆ 楽天証券 ■ SBI証券 ▲ 松井証券 ● カブコム

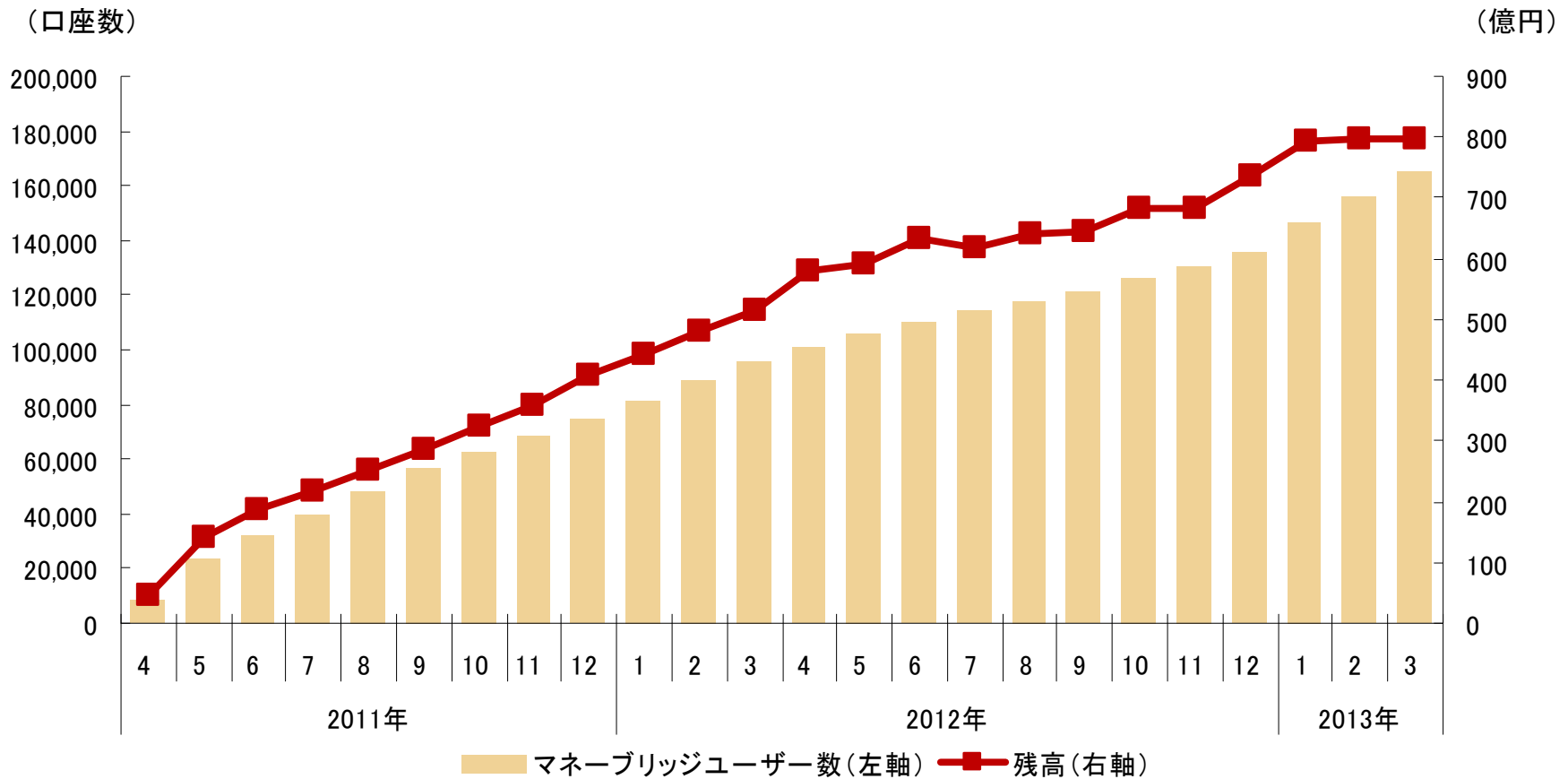
\*マネックス証券は開示基準の違いにより比較できないため掲載せず。SBI証券の2012年3月期4Qは数値開示未済につき未記載。

\*出所:(社)金融財政事情研究会各社公表情報及び各社ウェブサイト等での公開情報により当社集計。口座獲得コストは新規口座獲得数/広告宣伝費にて算出し、口座数純減月を除外。



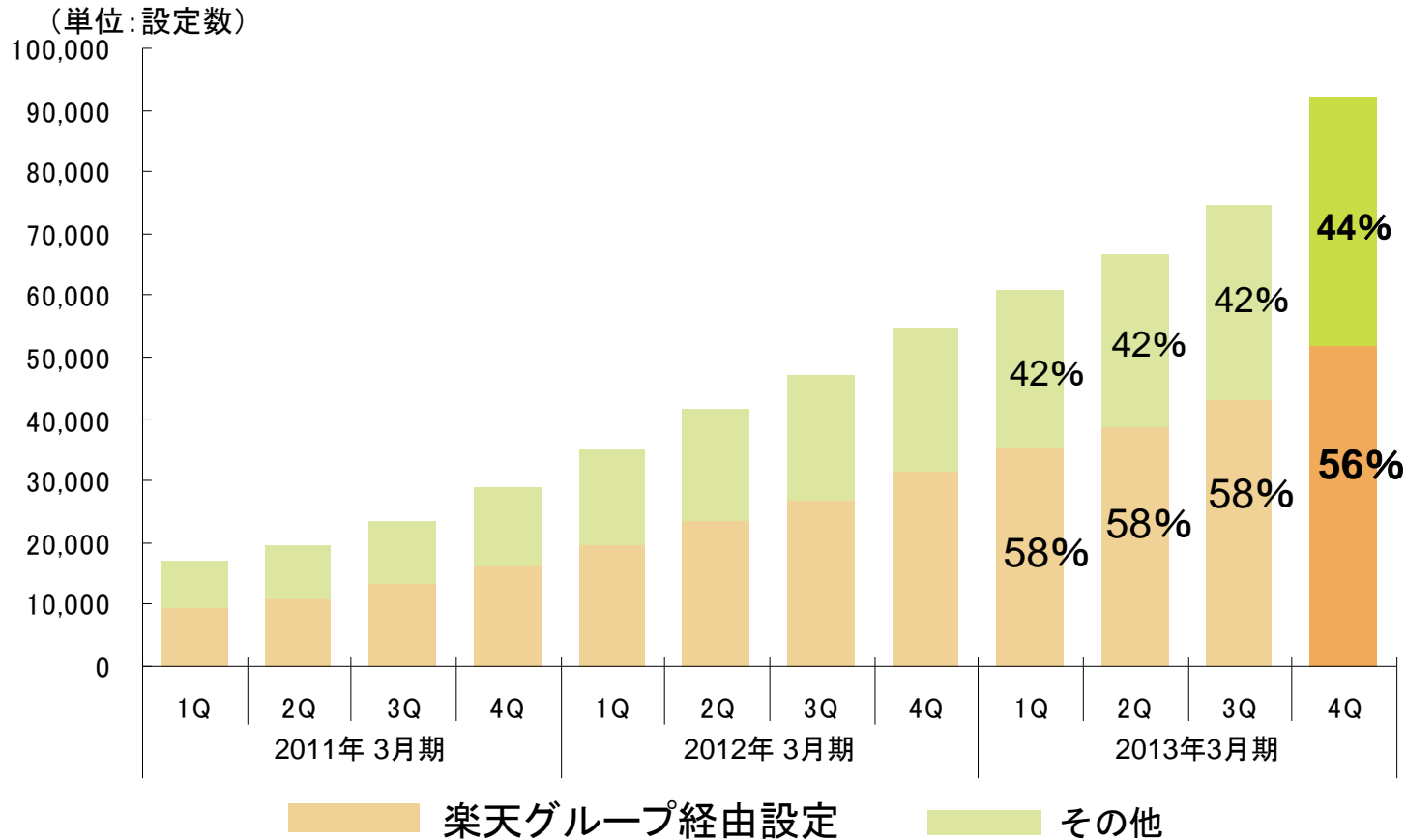
- 2011年4月にサービスを開始した楽天銀行との口座連携サービス『マネーブリッジ』は、口座数・利用実績とも順調に推移。

## 『マネーブリッジ』サービス 取扱い実績



- 投信積立は楽天グループ会員との親和性が高く、楽天グループ比率は高い水準で推移。

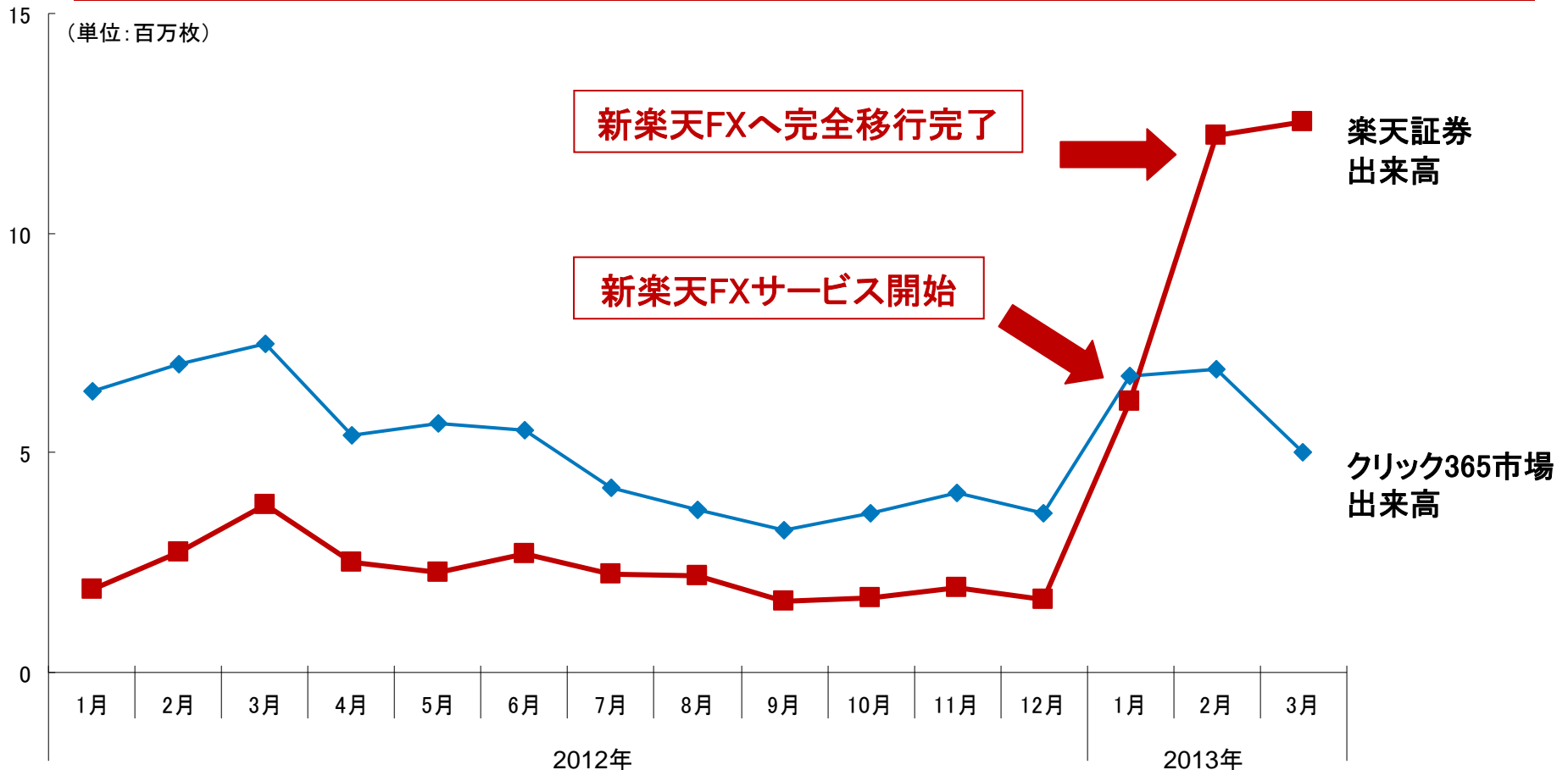
## 投信積立設定における楽天グループ経由の比率



\*楽天カード及び楽天銀行引き落としによる積み立て設定を楽天グループ経由設定として集計

- 2013年1月の新サービス開始以降、出来高が大幅増加。
- 店頭FX業界における売買高順位は13位(12/3月)⇒8位(13/3月)へ上昇。

## 楽天FXの出来高



\*店頭FX業界内売買高順位は金融先物取引業協会資料による。

- FX専門トップクラスと同等の競争力を持つスプレッドを提供。
- 取引専用ツール MARKETSPEED FXに加え、Web、スマートフォンによるマルチチャネルでのサービス提供

	新楽天FX	SBI証券	カブドットコム証券	マネックス証券
米ドル円 	スプレッド 0.5	スプレッド 0.8	スプレッド 0.6	スプレッド 2.0
ユーロ/円 	スプレッド 1.1	スプレッド 1.8	スプレッド 1.1	スプレッド 4.0
豪ドル円 	スプレッド 1.2	スプレッド 1.8	スプレッド 1.4	スプレッド 4.0



\*2013年3月25日時点 楽天証券の新スプレッドの適用は2013年4月1日～

# スマートフォン・タブレットサービスのラインナップ

日本株式

FX

先物オプション

投資信託

**iSPEED**  
for Android



スマートフォン専用  
投信サイト



**iSPEED**  
for iPhone



**iSPEED**  
for iPad



楽天FX取引専用

**iSPEED FX**

iPhone  
Android  
ダウンロード  
開始

FXトレードするなら、いつも片手に強い味方を。

新登場

先物オプション取引専用

**iSPEED 先物OP**

iPhone  
Android  
ダウンロード  
開始

海外指数やグリークスの比較まで可能に。

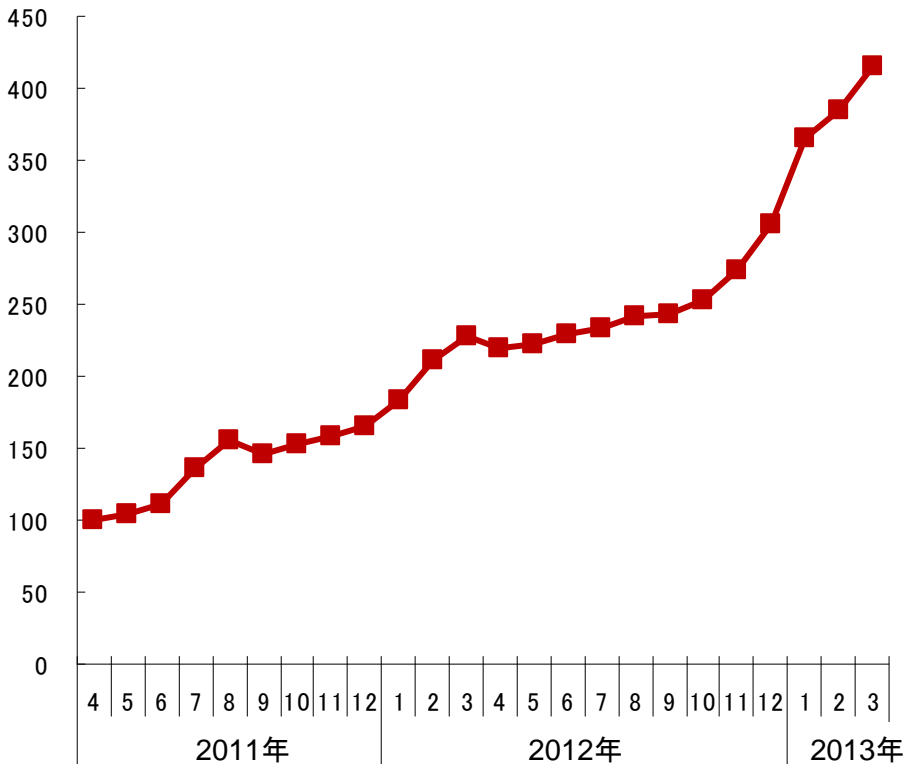
新登場

# スマートフォン・タブレットの利用率が急増

- スマートフォン利用者は大きく増加。
- スマートフォン専用アプリ“iSPEED”リリース後も新機能追加に注力。

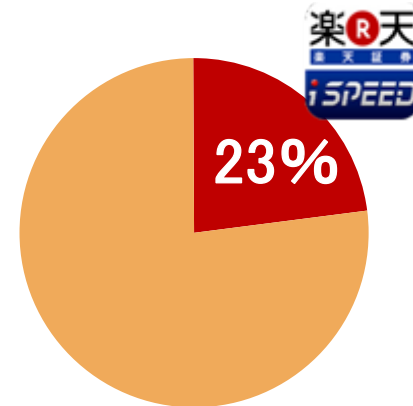
## スマートフォンによるログイン人数の推移

(2011年4月度ログイン人数を100とした場合の指数)

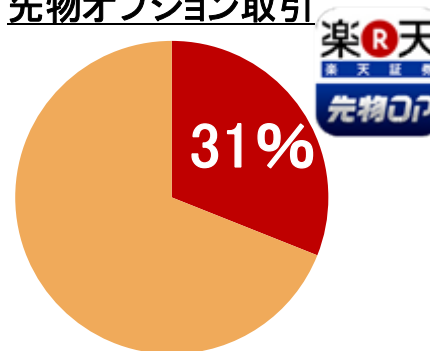


## 各取引におけるスマートフォン利用者の割合

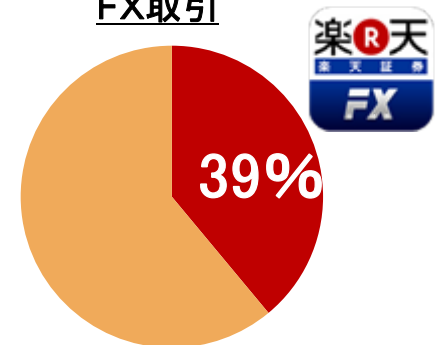
### 国内株式取引



### 先物オプション取引



### FX取引



\*スマートフォンによる利用率は2013年4月度基準

- 例年好評をいただいている投資セミナーを6月大阪、7月東京で開催
- 大阪、東京合わせて、1万人のご来場を予定。

楽天証券サービス開始14周年記念投資セミナー

相場動向を先読みして、  
今後の投資テーマを知る!

大阪 開催日程：6月23日(日) 会場：大阪国際会議場@大阪  
東京 開催日程：7月 7日(日) 会場：両国国技館@東京

東京・大阪 二会場講演



竹中 平蔵 氏  
慶応義塾大学グローバル  
セキュリティ研究所 所長兼教授



神原 英資 氏  
青山学院大学教授  
元大蔵省(現・財務省)財務官

東京講演



澤上 篤人 氏  
さわかみ投信株式会社  
取締役会長



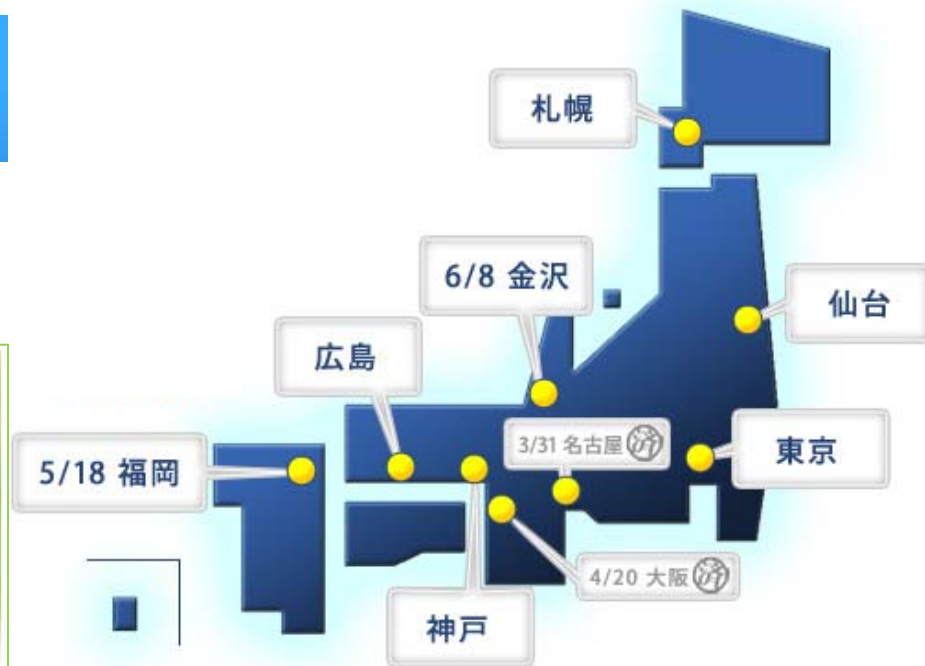
堀古 英司 氏  
ホリコ・キャピタル・  
マネジメント CEO

大阪講演



寺島 実郎 氏  
財団法人日本総合研究所 理事長  
多摩大学 学長  
株式会社三井物産戦略研究所 会長

- 全国9都市以上で、リアルセミナーキャラバンを展開。
- 当社トレーディングツールの実践的な利用法に加え、NISA(少額投資非課税制度)の有効利用をご案内。



オンラインセミナーと合わせ、10万人以上のお客様と対話



- 2014年1月開始の少額投資非課税制度(NISA)開始に先立ち、業界で最も早くNISA口座の開設申し込み受付を開始。



株式	業界最低水準の取引手数料	先進のスマホ取引 iSPEED
投信	業界屈指の取扱銘柄	充実の積立サービス
外国株	米国、アセアン、中国株式へ投資	業界最多の海外ETF取扱い

+

楽天グループでの連携サービスも！

